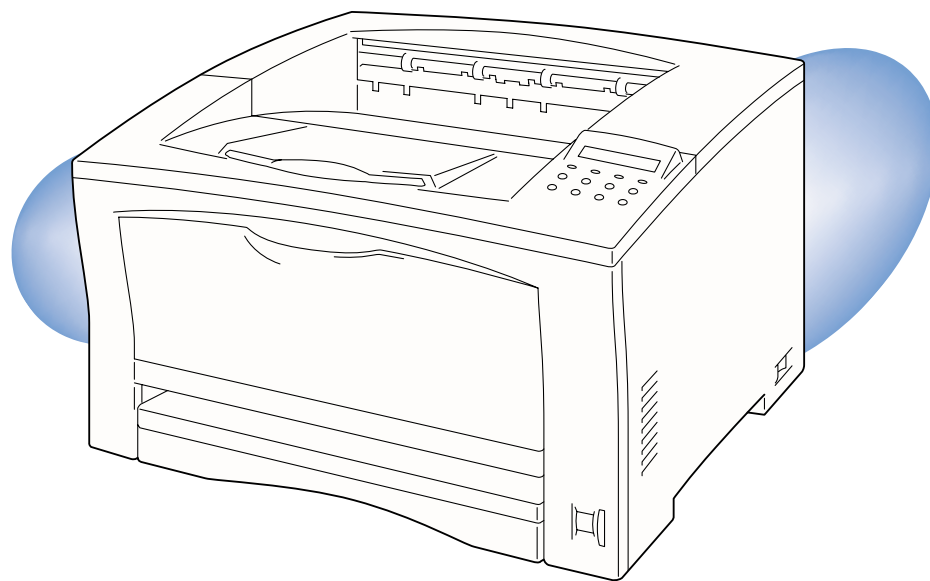
SPEEDIA

CP-E8500 Series

ハードウェアマニュアル

消耗品の交換、用紙の補給、オプションの取り付け、トラブルの解決方法等、プリンタの機械的な操作方法について記載されています。

T-714P-2B
MA0411-C　2004年11月18日　第3版発行

安全上のご注意

製品を設置・ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、SPEEDIA CP-E8500 シリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」は、SPEEDIA CP-E8500 シリーズを安全に正しくご使用いただくためにプリンタの正しい使いかた・点検・不具合が起きたときの処置のしかたなどについて説明したものです。プリンタをご使用の前に必ずお読みください。ご使用中もお手元に置いてご利用ください。サーバーをご使用の場合は、本CD-ROMのデータを共有フォルダにコピーして、プリンタをご使用になる方全員が参照できるようにしておくことをおすすめします。

注意表示について

本製品は内部に高温・高電圧部品を使用しています。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、本書では、製品の取り扱いを誤ったときに生じる危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに、次のような注意表示をしています。

 警告 この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことがあります。

 この注意表示が付いた注意文を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うまたは、財産に損害を与えることがあります。

絵表示について

本書にはさらに次のような絵表示をしています。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。左の例は、高電圧部分につき注意が必要なことを意味します。

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています。左の例は、分解禁止を意味します。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。左の例は電源プラグをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告

電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は100V、10Aとなっています。

電源プラグやコンセント及び、プリンタ側の差し込み口(インレット)に付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。
なお、延長コードが必要な場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご相談ください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

警告

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。お客様による修理や注油は危険ですので絶対しないでください。

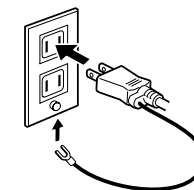
- 機械から発煙したり、異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグとともに出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事(D種)を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

適正電源コンセント

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 警告

本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。プリンタ内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。プリンタ内部の点検・調整・修理はお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターに依頼してください。

このプリンタを改造しないでください。火災や感電の原因になります。

この装置は、レーザーの国際規格IEC　60825-1(Class1)に準拠しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは装置内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。従って、お客様が使用される場合はレーザーは被爆しません。取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になることがあります。

万一、煙りが出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。プリンタが故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
万一、金属、水、液体などの異物がプリンタ内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターに連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

このプリンタの上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器またはクリップやホチキスなどの金属物や燃えやすいものを置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

万一、異物(金属片、水、液体)が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。カシオは、地球環境保護のため、使用済みのドラムトナーセットを無料で回収しています。詳しくはオプションのドラムトナーセットに同梱の案内書をご覧ください。やむを得ず、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従ってください。

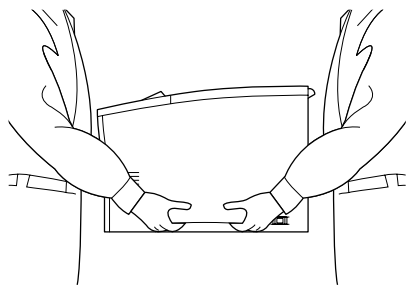
ドラムトナーセットを、絶対に加熱したり、表面をはがしたりしないでください。健康を害する原因となるおそれがあります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

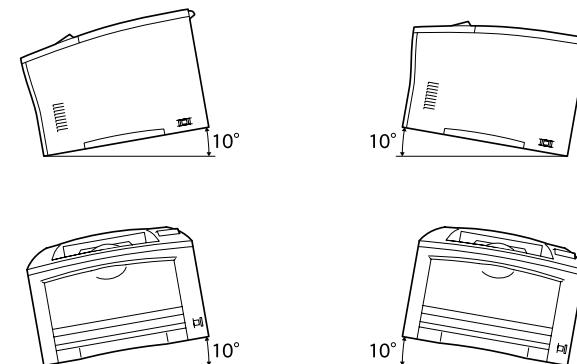
⚠ 注 意

機械は、重さ約42kg(フル実装時)に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

プリンタは消耗品やオプション類を取り外しても約18kgあります。
プリンタを移動するときは、両側面の中央下部にあるくぼみを持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
長距離を移動する時は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターに相談してください。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠ 注 意

機械を移動する場合は、機械を10度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

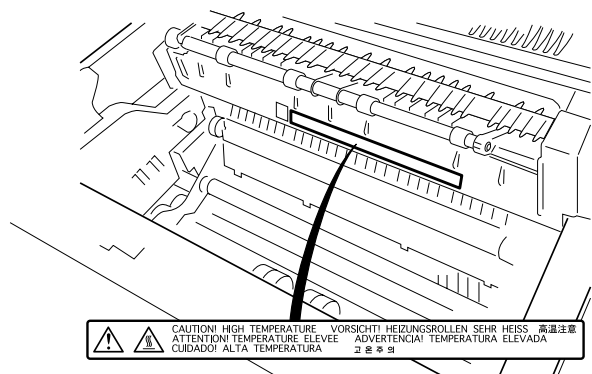
狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガの原因となるおそれがあります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺(定着ユニットやその周辺)には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。
なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。

オプションの取り付け、取り外しは、プリンタの電源スイッチが切れていて、プリンタ本体が常温であることを確認してから行なってください。やけどの原因になります。

定着ユニットは高温になります。定着ユニットに触れるときはプリンタ本体の電源を切ってから約１時間待ち、定着ユニットが常温になってから行なってください。やけどの原因になります。

⚠ 注 意

電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。発熱や火災の原因になることがあります。

１か月に一度は機械の電源スイッチ切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合はお買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターまでご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

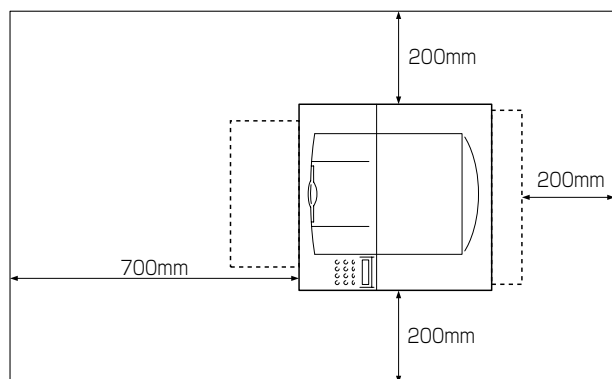
トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

パソコンと同じコンセントを使用すると、パソコンの画面がちらついたり、誤動作によりパソコンのデータが消える事があります。プリンタの電源コードをパソコンと別の専用コンセントに差し替えてください。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物(強燃性スプレー等)やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には設置しないでください。火災の原因になる事があります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

機械の、左右の側面および背面には通気口があります。機械は壁などから200mm以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。なお、取り付けは弊社担当者におまかせください。

キャスターが付いた台の上に設置するときは、必ずキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

大切な家具などの上に設置しないでください。長時間同じ場所に設置しておくと、製品のゴム足が設置した場所に付着して汚す事があります。

テレビやラジオの近くに設置しないでください。受信障害の原因になる事があります。

⚠ 注 意

詰まった用紙を取り除くときは、内部に紙片が残らないようにすべて取り除いてください。紙片が残ったまま使用すると火災の原因になる事があります。
なお、用紙が定着器の内部に残って取り除けないときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご連絡ください。

布のカバーなどを掛ける場合は、電源を切った後、製品の内部が十分冷えきってから掛けてください。製品の内部が熱いうちに掛けると、火災の原因になる事があります。

消耗品はカシオ純正品をご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなく、プリンタ本体の故障の原因となる場合があります。プリンタ本来の性能を十分発揮し、快適な出力環境でご使用いただくために、カシオ純正の消耗品をご使用ください。

諸注意事項

本書の適用機種

本書は以下の製品を安全に正しくお使いいただくための取扱説明書です。製品をご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

● SPEEDIA CP-E8500
CP-E8500NW

保証について

プリンタ本体に同梱の「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、投函してください。着信しだいお客様の登録手続きを行ない、保証書をお送りいたします。

☞ 付録 5. 保証について（103 ページ）

レーザー光について

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス I のレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

瞬時電圧低下耐力について

本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

高調波対策について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

電波障害自主規制について

CP-E8500プリンタ装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
またオプションを使用した場合の適合レベルは以下の通りです。
LAN I/Fボード(CP-NW110)(CP-NW200T)…クラスA　正規
上記以外…クラス B　正規
なお、オプションのLAN I/Fボードを使用した場合、及び、LAN I/F ボード（CP-NW110）を標準実装している CP-E8500NWプリンタ装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

国際エネルギースターについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

使用上のお願い

- いつもよい状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
  温度５～35℃　　湿度15～85%（結露がないこと）
  温度が32℃のときは湿度70%以下、湿度が85%のときは温度28℃以下でお使いください。

> ☑ ポイント **冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めたり、湿度や温度が低いところから高いところにプリンタを移動した場合は、プリンタ内部に水滴が付着し（結露）、印字品質が低下することがあります。結露が生じた場合には、１時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。**

- 直射日光にあたる場所には機械を置かないでください。故障の原因になることがあります。
- プリンタ内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
- 印刷中にトップカバーやマルチペーパフィーダを開けたり、プリンタを移動したりしないでください。
- 印刷中はペーパカセットを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙が詰まります。
- クリップなどの異物がプリンタの中に入らないようにしてください。
- 印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
- 印刷中にプリンタの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機は、月間印刷ページ数の平均が3,000ページ、最大で10,000ページ以下（A4の場合）、１日の通電時間の合計が８時間程度の条件で、使用年数を5年と想定して設計・製造されています。月間印刷ページ数の平均が3,000ページ、最大で10,000ページを超えていたり、１日に合計８時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が600,000ページを超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

注意！ **この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。**

ポイント **取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたい事を記載しています。**

関連した内容の参照先を示しています。

この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Reader の ⬅「前の画面」ボタンを押します。）

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

＜正式名称＞

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版

＜省略記載＞

Windows 95
Windows 98
Windows NT 4.0
Windows 2000
Windows Me
Windows XP
総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows 95/98/NT4.0/2000」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windows の画面について

本書に掲載の Windows のパソコン画面は、特に指定がない限り、Windows 98 の画面を例に使用しています。

エネルギースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。
このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。
本製品は、同プログラムに挙げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

省電力モードについて

- 本機には、「省電力モード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。省電力モードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作パネルのキーを押すと解除されます。
- 省電力モードへの移行時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、リファレンスマニュアル「(例) 省電力モードに入るまでの時間を２０分に設定する」（１１ページ）を参照してください。
- 機能の仕様

低電力機能	消費電力	20W 以下
	省電力モードへの移行時間	30 分

ご　注　意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載する事を禁止します。

(2) 本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。

(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバの「ヘルプ」もしくはテキストファイル「README.TXT」に記載される事があります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。
http://www.casio.co.jp/ppr/

(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

(5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造および、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用した事等に起因して生じた障害及び、トラブル等につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。

(8) 「ESC/P」、「ESC/Page」は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

(9) 「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。

(10) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目　次

安全上のご注意 1
注意表示について 1
絵表示について 1

諸注意事項 7
本書の適用機種 7
保証について 7
使用上のお願い 8
マークについて 9
表記について 9
Windowsの画面について 9
エネルギースター 10

目次 12

特長 15

1. 各部の名称とはたらき 16
前面 16
内部 17
背面 17

2. オプションについて 18
2.1 オプションの紹介 18
2.2 拡張ページパフィーダセットの取り付け 20
2.3 両面印刷ユニットを取り付ける 26
2.4 増設メモリモジュールを取り付ける 28
2.5 ハードディスクユニットを取り付ける 30
2.6 LAN I/Fボードの取り付け 33

3. 用紙の補給 36
3.1 用紙について 36
3.2 A3ユニバーサルカセット（A3/250枚）に
用紙をセットする 39
3.3 A4カセット（A4/500枚）に
用紙をセットする 42
3.4 マルチページパフィーダに用紙をセットする .. 44
3.5 OHPフィルムや厚紙の印刷方法 46
3.6 官製はがきの印刷方法 48
3.7 封筒の印刷方法 50
3.8 不定形サイズ用紙の印刷方法 51
3.9 長尺紙の印刷方法 54

4. こんなときには 56
4.1 メッセージが表示されたとき 57
4.2 印刷がはじまらないとき 61
4.3 画像トラブルの直し方 64
4.4 その他のトラブル 70
4.5 プリンタの清掃について 72
4.6 プリンタを長期使用しないときは 74
4.7 プリンタを移動するときは 75
4.8 定期交換部品について 78
4.9 お問い合わせ先 79

5. 紙詰まりの処置 80
5.1 紙詰まりの場所と枚数 80
5.2 カセット内の紙詰まり
（カミヅマリキュウシ） 82
5.3 マルチペーパフィーダ付近の紙詰まり
（カミヅマリキュウシ） 83
5.4 本体内部の紙詰まり
（カミヅマリ　タイキ, ハンソウ, ハイシ,
リョウメン　ホンタイ） 84
5.5 両面印刷ユニットの紙詰まり
（カミヅマリリョウメンウエ,
リョウメンシタ） 86

6. ドラムトナーセットの交換 88
6.1 トナーセットの交換方法 89

付録1. 主な仕様 92

付録2. 用紙について 95

付録3. 印字領域 100

付録4. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について 102
インターフェイスの自動切り替え 102

付録5. 保証について 103
6ヶ月サービス無償保証とお願い 103

付録6. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法 104
印刷方法 104
キーワードによる検索方法 105

付録7. 使用済みパソコン・プリンタ・情報通信機器の回収再資源化について 106

特　長

本プリンタは、次のような優れた特長を持っています。

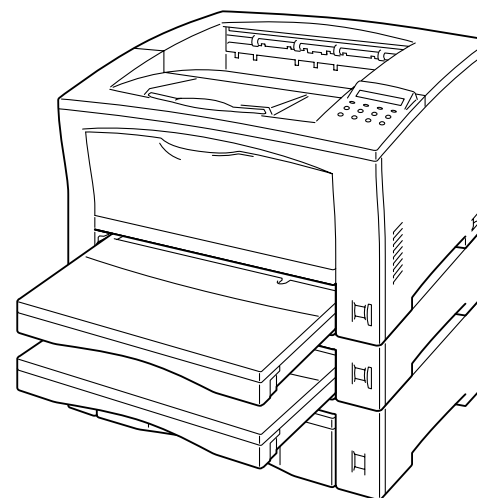
◆ 解像度600dpiのレーザー方式で、高画質、高品質の印刷ができます。

◆ 1分間に26枚（A4サイズの同一原稿を横送りで連続印刷の場合）の高速印刷を実現しています。

◆ マルチペーパフィーダには、はがきサイズからA3サイズまでの定形用紙、不定形用紙（最大297×508mm）、長尺紙（297×900mm）がセットできます。封筒やラベル用紙などの特殊用紙にも対応しています。拡張ペーパフィーダには、A5サイズからA3サイズまで、さまざまな用紙サイズに対応したカセット（A3/250枚）が使用できます。

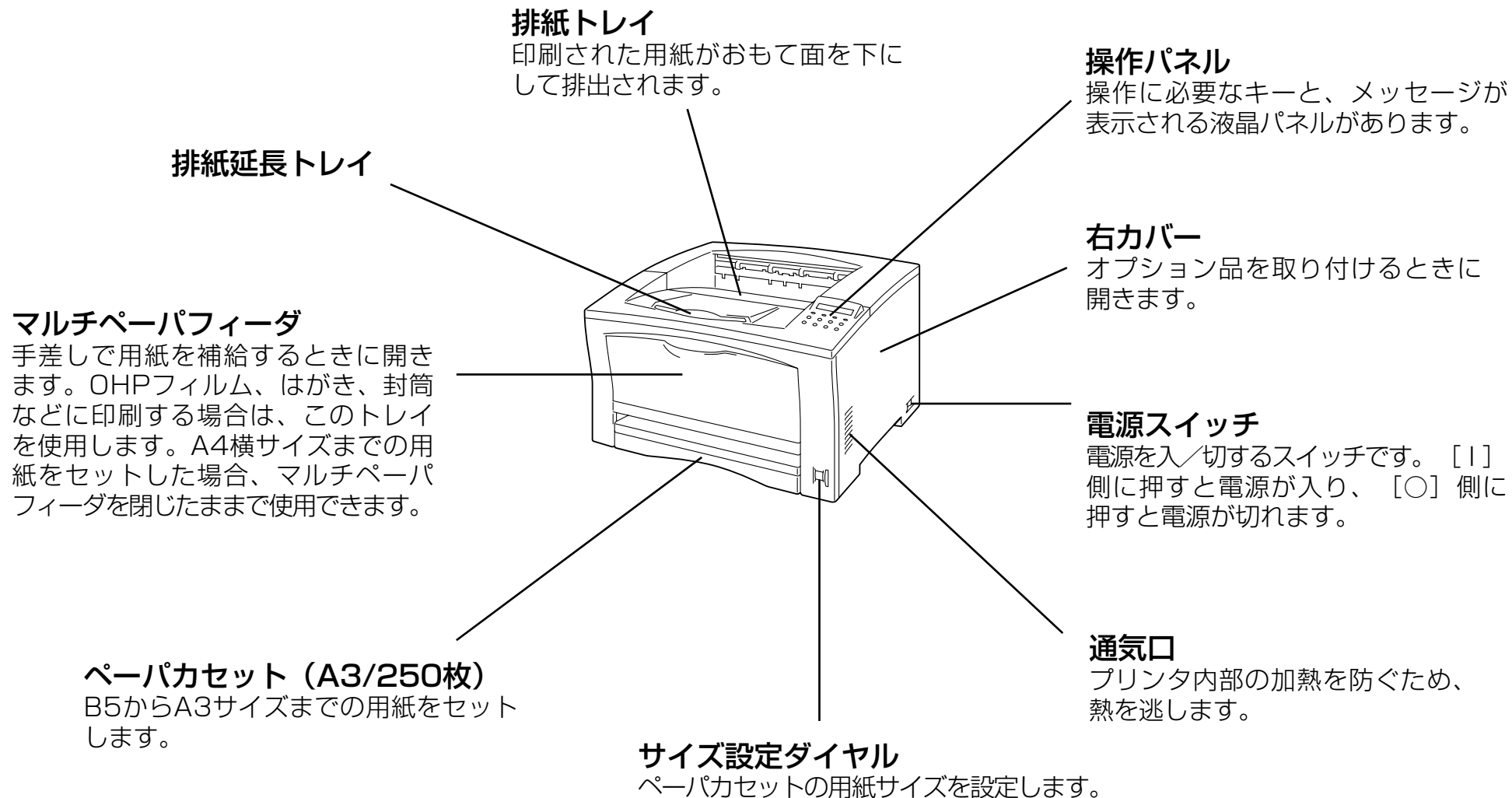
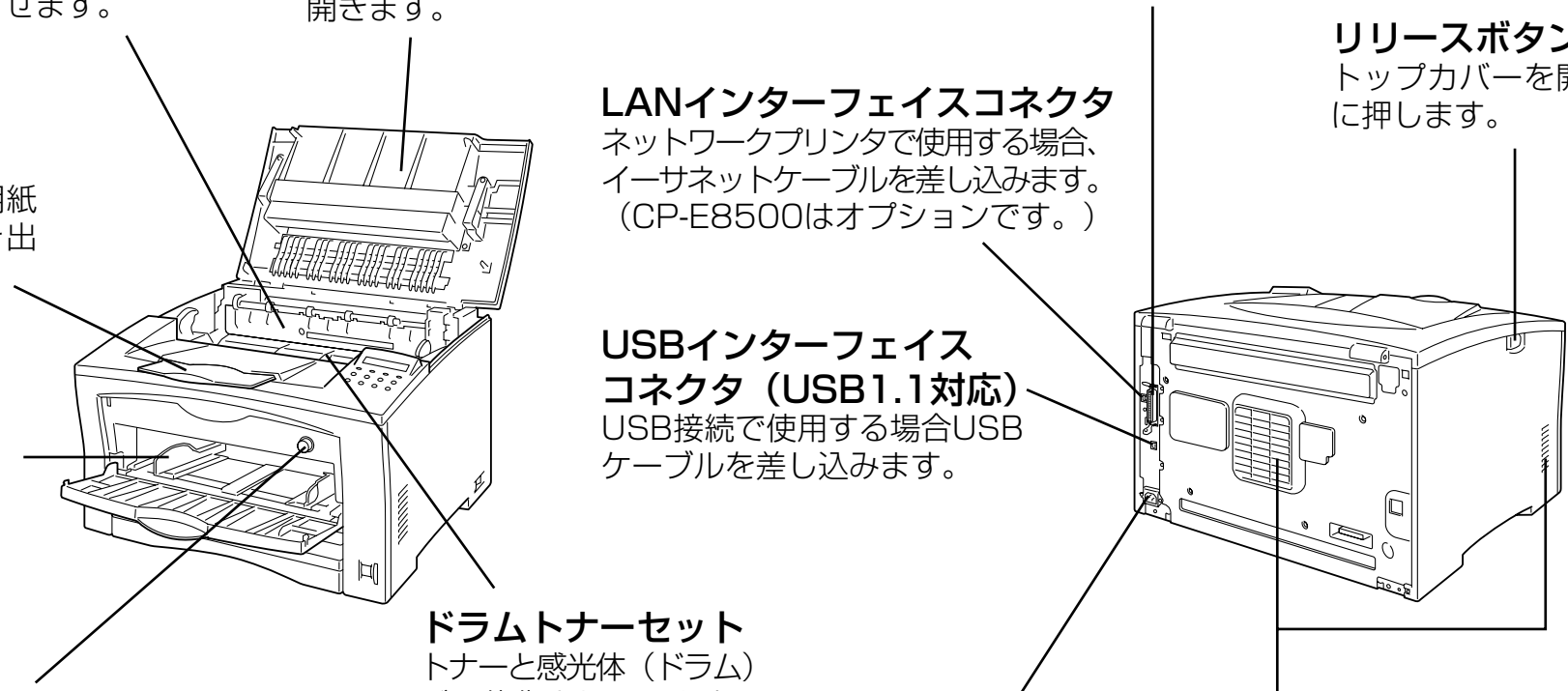
◆ オプションの拡張ペーパフィーダ（A3/250枚）、および拡張ペーパフィーダ（A4/500枚）が用意されています。
拡張ペーパフィーダ（A4/500枚）を2段追加した場合、マルチペーパフィーダを含めて最大1,400枚の用紙をセットできます。
2種類の拡張ペーパフィーダを任意の組み合わせで2段まで追加することができます。

◆ オプションの両面印刷ユニットを取り付ければ、両面印刷が可能になります。

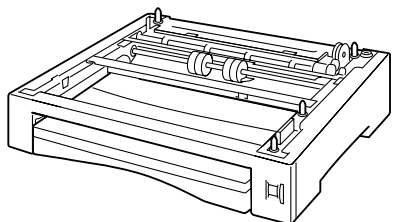
下の図は、オプションの拡張ペーパフィーダ（A3/250枚）、および拡張ペーパフィーダ（A4/500枚）を本体に装着した場合です。

1. 各部の名称とはたらき

前面

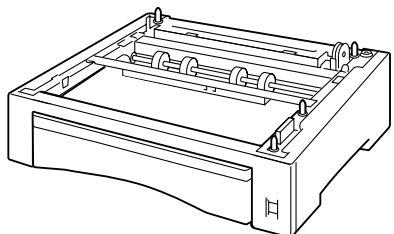
内部

背面

トップカバー
ドラムトナーセットの交換をするときや、詰まった用紙を取り除くときに開きます。
定着部（フューザーユニット）
用紙にトナーを定着させます。
排紙延長トレイ
A4サイズより大きな用紙に印刷する場合に引き出して使用します。
用紙ガイド
マルチペーパフィーダにセットした用紙を押さえます。
マルチペーパフィーダサイズ設定ダイヤル
マルチペーパフィーダにセットした用紙サイズを設定します。
ドラムトナーセット
トナーと感光体（ドラム）が一体化されています。
パラレルインターフェイスコネクタ
ローカルプリンタで使用する場合、パラレルケーブルを差し込みます。
リリースボタン
トップカバーを開くときに押します。
LANインターフェイスコネクタ
ネットワークプリンタで使用する場合、イーサネットケーブルを差し込みます。（CP-E8500はオプションです。）
USBインターフェイスコネクタ（USB1.1対応）
USB接続で使用する場合USBケーブルを差し込みます。
電源コード差し込み口
電源コードを差し込みます。
通気口
プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱を逃します。

2. オプションについて

2.1 オプションの紹介

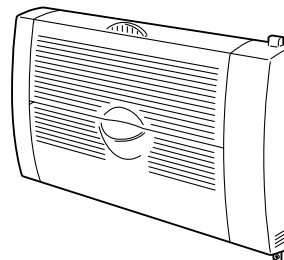
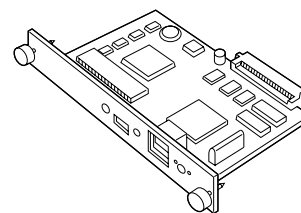
●拡張ペーパフィーダセット（A3/250 枚）
（CP-CPF85A3U）

A5横～A3縦までの定形サイズの普通紙を 250 枚（64g/m²）までセットできます。

☞ 「2.2 拡張ペーパフィーダセットの取り付け」（20 ページ）

●拡張ペーパフィーダセット（A4/500 枚）
（CP-CPF85A4T）

A4 サイズの普通紙を 500 枚（64g/m²）までセットできます。

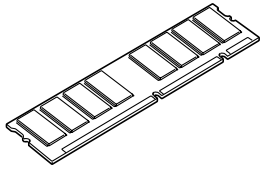
☞ 「2.2 拡張ペーパフィーダセットの取り付け」（20 ページ）

●両面印刷ユニット（CP-RIS85）

自動両面印刷が可能になります。

● LANI/F ボート-------------- CP-NW110, CP-NW200T

プリンタに取り付ける事により、イーサネットに接続して、LAN のプリンタとして共用できるようになります。
対応プロトコル:TCP/IP, IPX/SPX, SNMP, DHCP, BOOTP, RARP, HTTPD

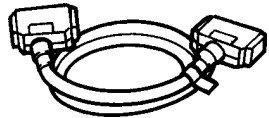
※ CP-NW200T は IPX/SPX（Net Ware）プロトコルには対応していません。
※ CP-E8500NW は標準で CP-NW200T を実装済みです。
※ CP-E8500NW 及び CP-NW200T は 2003 年 10 月頃の発売予定です。

☞ 2.6 LAN I/F ボードの取り付け（33 ページ）

●増設メモリモジュール

プリンタのシステムメモリを拡張できます。
64Mバイト..........CP-SDR64M
128Mバイト.......CP-SDR128M

※ 市販のDIMMは使用できません。必ずプリンタ専用のDIMMをご使用ください。

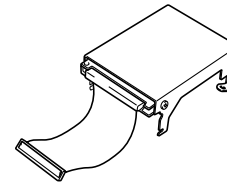
☞ 2.4 増設メモリモジュールを取り付ける（28ページ）

●プリンタケーブル

パソコンとプリンタを接続するケーブルです。パソコンごとに各種プリンタケーブルがあります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

※ 本プリンタはECP（Extended Capabilities Port）モードをサポートしていますが､ECPで使用するときはカシオCP-CA554（DOS/V機用）プリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側にもECPモードをサポートしている必要があります。

※ 各社パソコンの純正プリンタケーブルをご使用になるときは､必ずケーブルとコネクタがシールドされているものをご使用ください｡シールドされていないものをご使用すると電波障害の原因になる事があります。

※ USBケーブルはUSB1.1, USB2.0どちらでもご使用いただけますが、ツイストペア，シールドタイプのものをご使用ください。

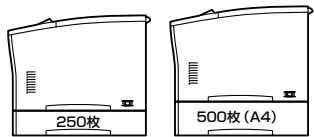
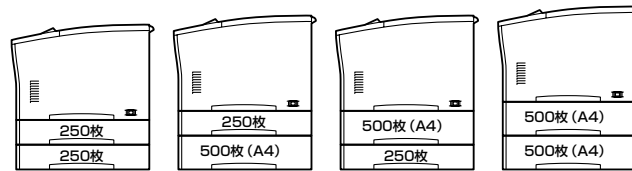
●ハードディスクユニット---- CP-HDD

印刷データをいったんハードディスクに登録する事により、部単位のコピー印刷をプリンタ側で行なえるようになります。大量の部単位コピー印刷でも、パソコン側の負担になりません。

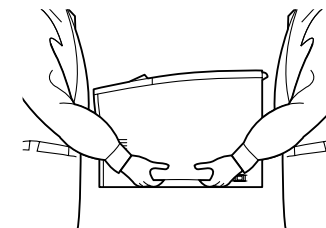
☞ 2.5 ハードディスクユニットを取り付ける（30ページ）

2.2 拡張ペーパフィーダセットの取り付け

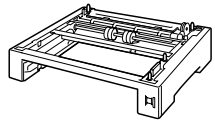
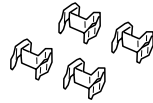
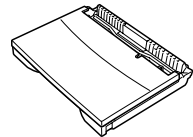
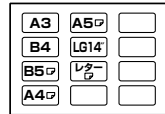
拡張ペーパフィーダセットの組み合わせ

2種類の拡張ペーパフィーダを任意の組み合わせで､2段までプリンタに取り付けられます。

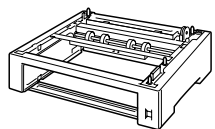
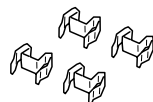
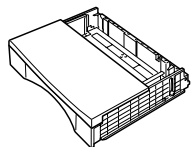
1段取り付け例

2段取り付け例

⚠ 注 意

- 作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
- プリンタの重さは、オプション品、カセット、消耗品、用紙を除いた本体のみの状態で約18kgです。プリンタの持ち運びは、必ずオプション品を取り外してから行なってください。
- プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。
- プリンタを持ち上げるときは、2人でプリンタ正面および背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。プリンタを下ろすとき、手をはさむおそれがあります。

同梱品の確認

プリンタに取り付ける前に、次のものがそろっていることをご確認ください。

●拡張ペーパフィーダセット（A3/250 枚）

拡張ペーパフィーダ
（A3/250 枚）

固定クリップ

カセット
（A3/250 枚）

用紙サイズ
ラベル

取扱説明書

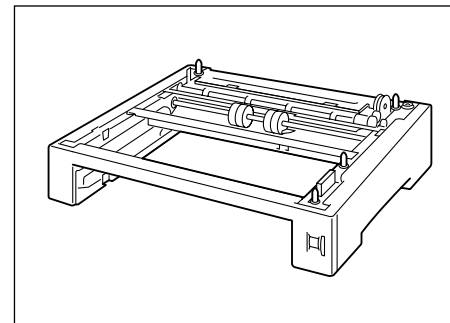
●拡張ペーパフィーダセット（A4/500 枚）

拡張ペーパフィーダ
（A4/500 枚）

固定クリップ

カセット
（A4/500 枚）

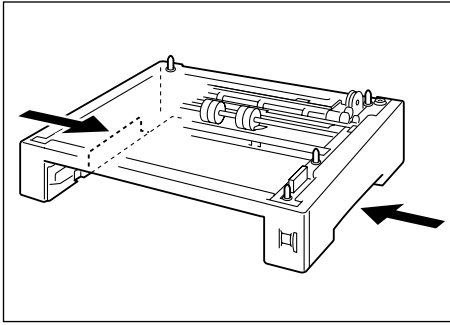
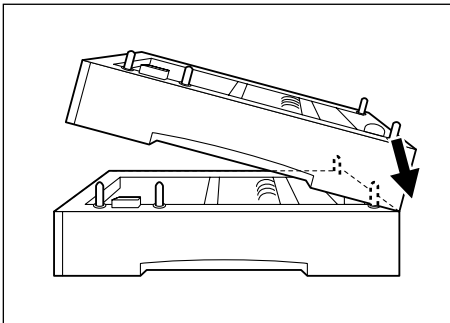
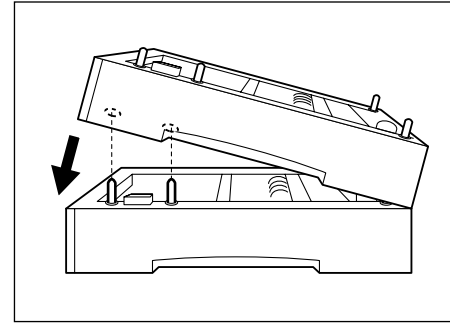
取扱説明書

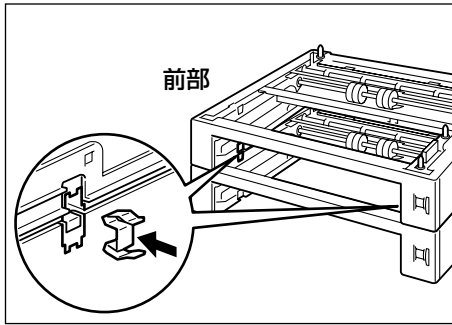
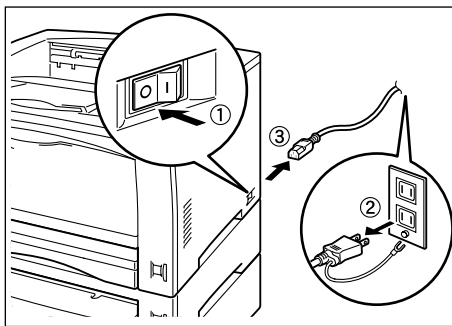
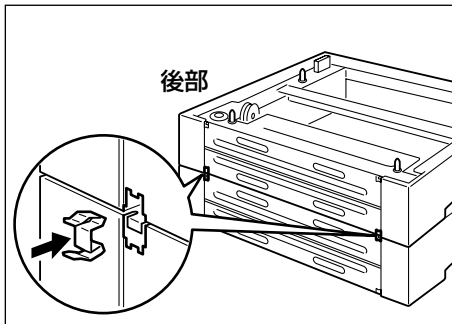
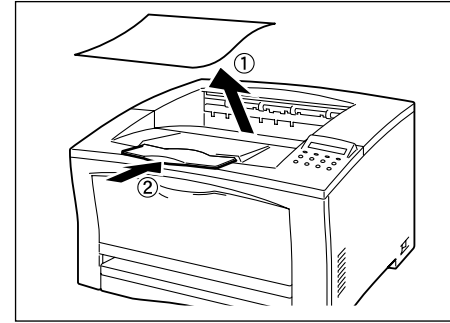
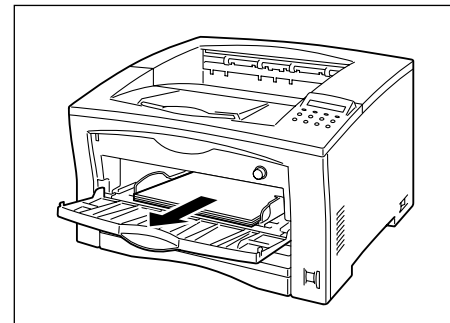
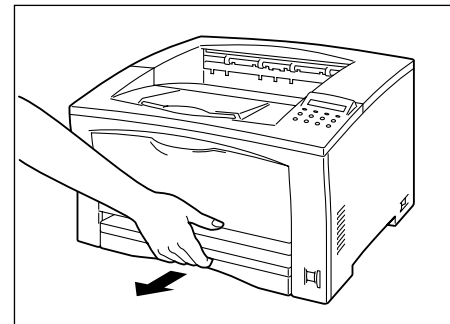
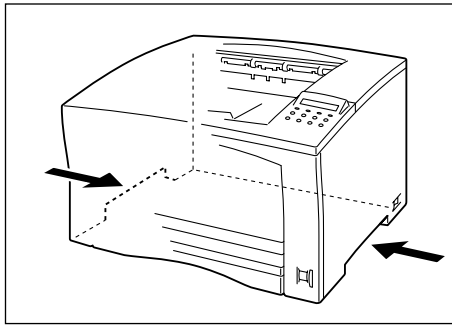
取り付け手順

次の手順に従って、プリンタに拡張ペーパフィーダセットを取り付けます。

ポイント
2 種類の拡張ペーパフィーダセットを任意の組み合わせで 2 段まで追加することができます。

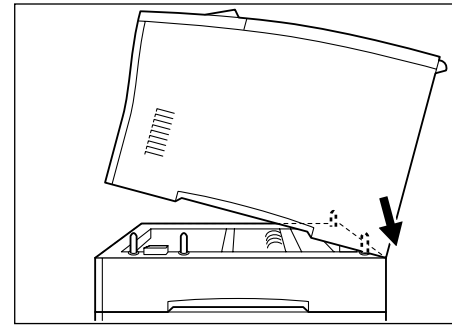
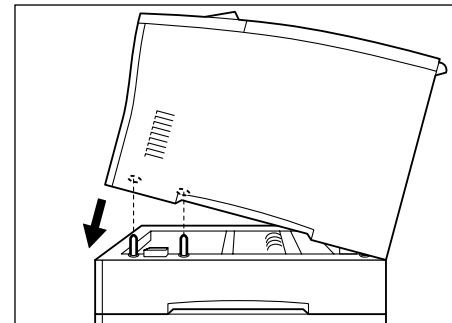
ポイント
- **ここでは､拡張ペーパフィーダセット(A3/250枚)の場合を例に説明しますが、拡張ペーパフィーダセット（A4/500枚）の場合も同様の手順で取り付けることができます。**
- **ここでは、オプションの拡張ペーパフィーダセットを 2 段取り付ける場合を例に説明します。1 段だけ取り付ける場合も、同様にしてください。**

1 **一番下に取り付ける拡張ペーパフィーダセットを平らな場所に置きます。**

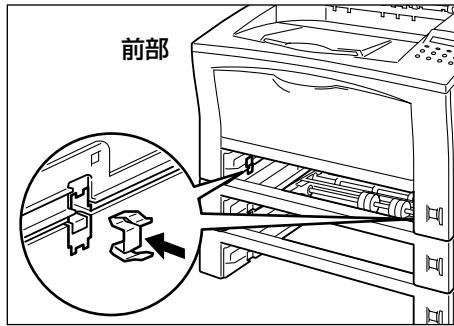
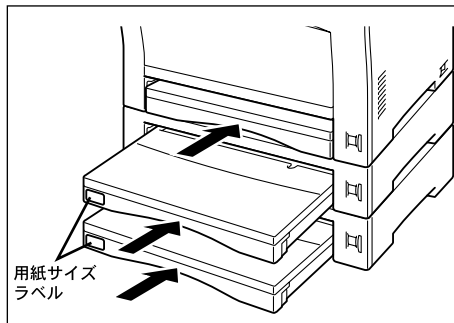
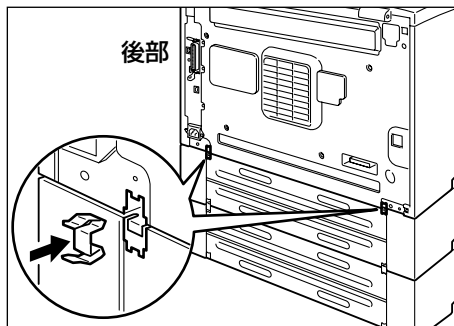
ポイント
拡張ペーパフィーダセットを 1 段だけ取り付ける場合は、手順 *6* に進んでください。

2 上に取り付ける拡張ペーパフィーダセットを、矢印の部分を持って、持ち上げます。

3 上下の拡張ペーパフィーダセットの、後部の角を合わせます。
下の拡張ペーパフィーダセットの後部にある左右のガイドピンが、上の拡張ペーパフィーダセットの底面にある穴に入るようにしてください。

4 上の拡張ペーパフィーダセットの前部を静かにおろします。
下の拡張ペーパフィーダセットの右側面にある2本のガイドピンが、上の拡張ペーパフィーダセットの底面にある穴に入るようにしてください。

ポイント
拡張ペーパフィーダセットは、必ず静かにおろしてください。拡張ペーパフィーダセットを勢いよくおろすと、内部の部品が破損するおそれがあります。

5 拡張ペーパフィーダセットの前後4か所の差し込み部に、付属の固定クリップを押し込みます。固定クリップは、しっかりと押し込んでください。

6 プリンタの電源スイッチを切り（①）、電源コードをコンセントから抜き（②）、プリンタから抜きます（③）。

7 排紙トレイに用紙がある場合は取り除き（①）、排紙延長トレイが引き出されている場合は、元に戻します（②）。

8 マルチペーパフィーダを開き、用紙がある場合は取り除いて、マルチペーパフィーダを閉じます。

9 カセットを引き抜きます。

10 矢印の部分を持って、プリンタを持ち上げます。

⚠ 注 意

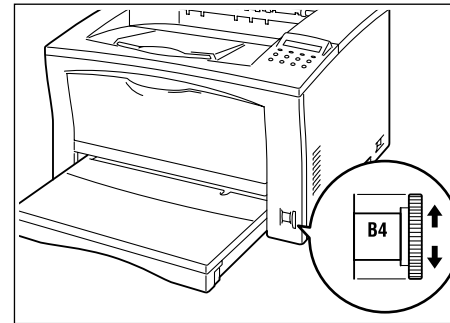
プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

ポイント
プリンタを持ち上げるときは、2人でプリンタ正面および背面に立ち、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って持ち上げることは、絶対にしないでください。プリンタを下ろすとき、手をはさむおそれがあります。

11 プリンタと拡張ペーパフィーダセットの後部の角を合わせます。拡張ペーパフィーダセットの後部にある左右のガイドピンが、プリンタ底面の穴に入るようにしてください。

12 プリンタの前部を静かにおろします。拡張ペーパフィーダセットの右側面にある2本のガイドピンがプリンタの底面の穴に入るようにしてください。

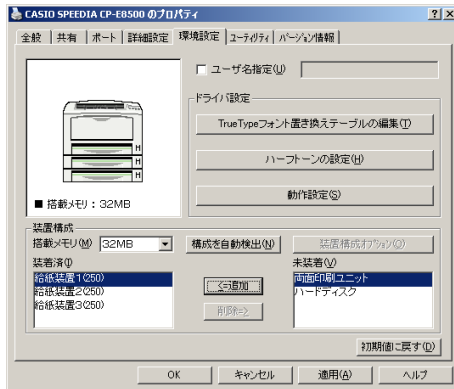
ポイント
プリンタは、必ず静かにおろしてください。プリンタを勢いよくおろすと、内部の部品が破損するおそれがあります。

13 プリンタの前後4か所の差し込み部に、付属の固定クリップを押し込みます。固定クリップは、しっかりと押し込んでください。

14 用紙を入れたカセットをプリンタの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

カセットに用紙をセットする方法は、「3. 用紙の補給」（36ページ）を参照してください。

> **ポイント** 拡張ペーパフィーダセット（A4/500枚）を取り付けたときは、手順 *16* に進んでください。

カセットのサイズを固定してご使用になる場合は、セットする用紙サイズに合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

15 カセットのサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙のサイズと向きに合わせます。

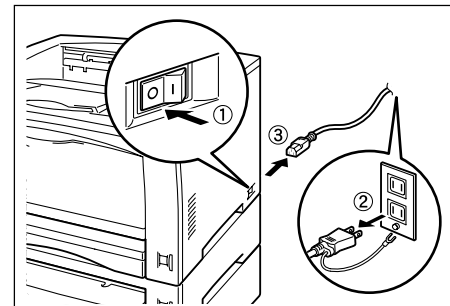
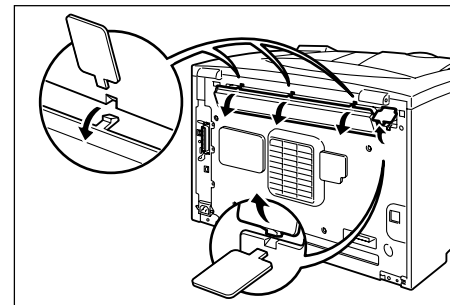
> **注意！** 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。

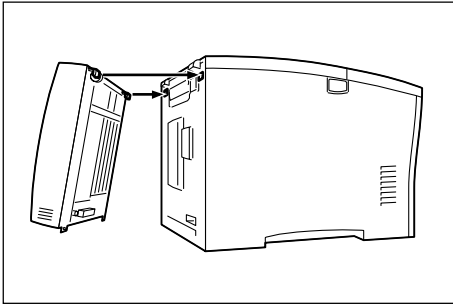
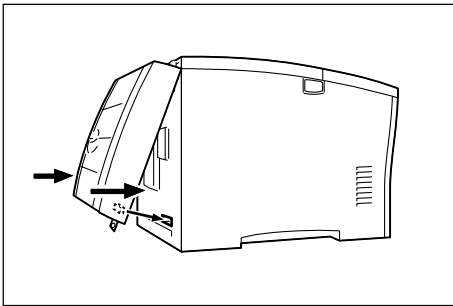
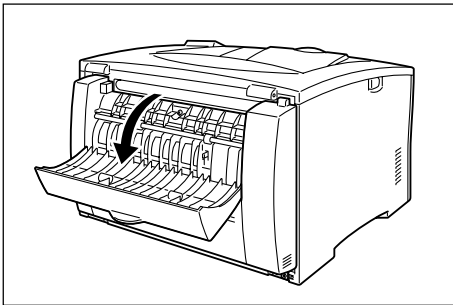
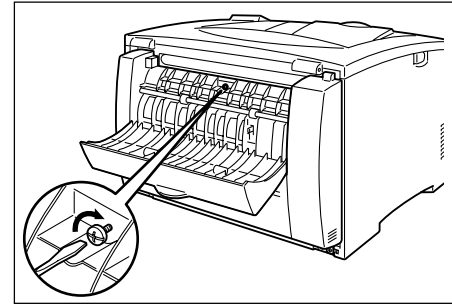
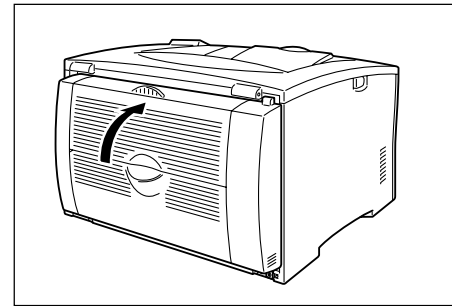
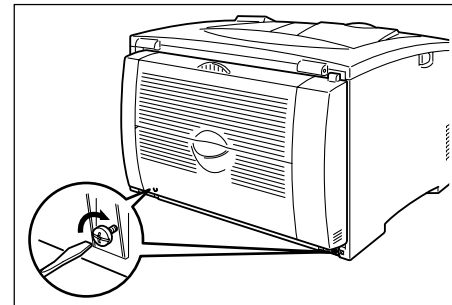
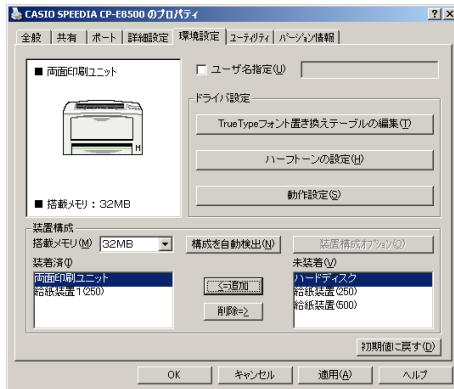
> **ポイント** 用紙の向きは、用紙の短辺が横になるようにセットしたときが「縦」、用紙の長辺が横になるようにセットしたときが「横」です。
> 図はB4縦にセットした例です。

16 プリンタドライバの「プロパティ」画面を開き、「環境設定」タブ画面の「装置構成」に取り付けた台数分の「給紙装置」を「追加」します。

※ 設定方法はWindowsのOSにより一部異なります。詳しくは☞ プリンタドライバマニュアル（19ページ）をご覧ください。

2.3 両面印刷ユニットを取り付ける

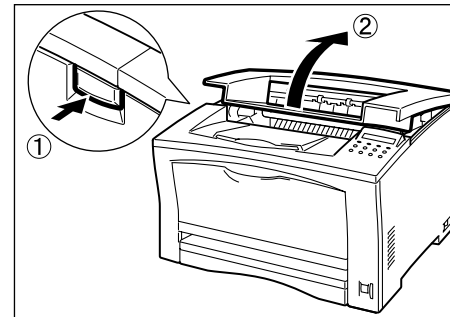
取り付け手順

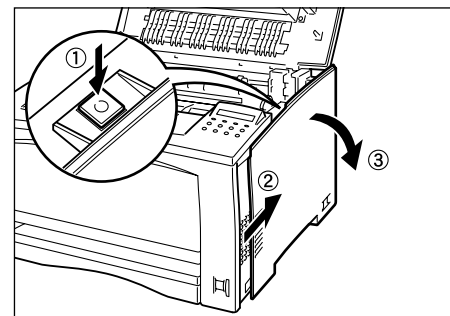
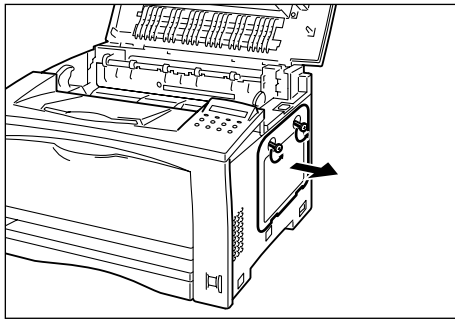
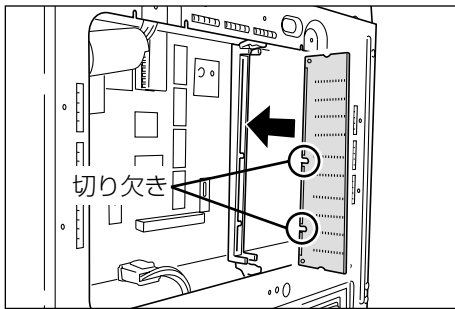
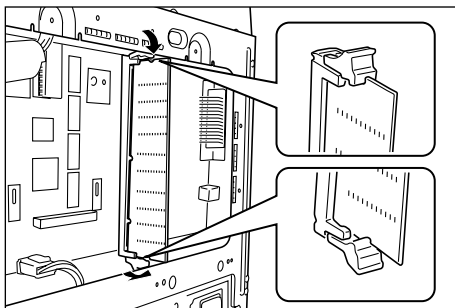
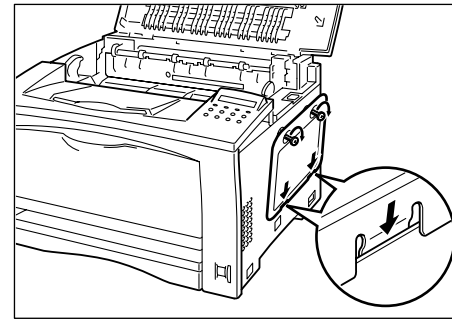
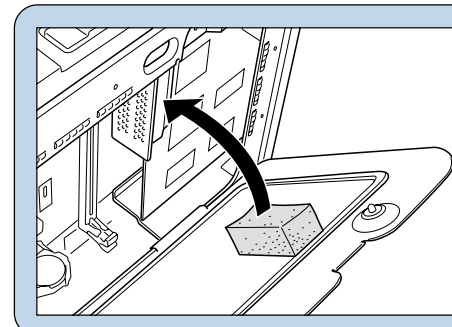
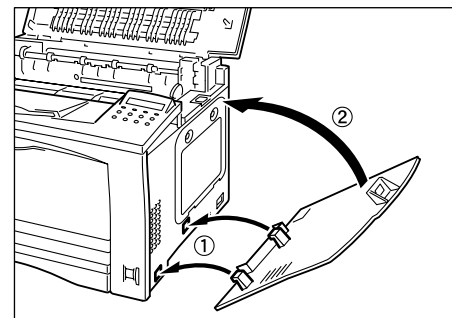
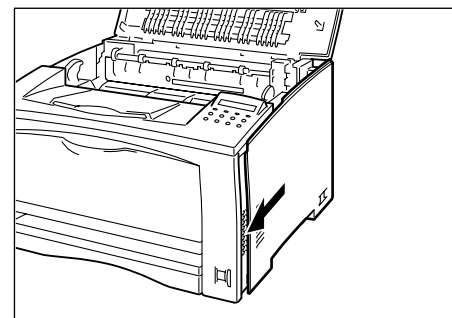
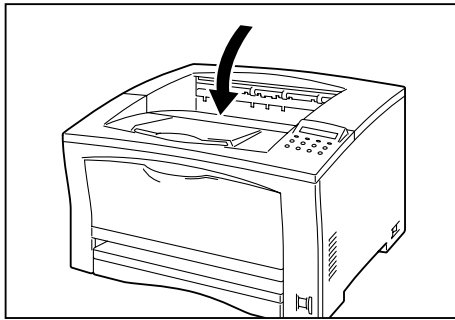
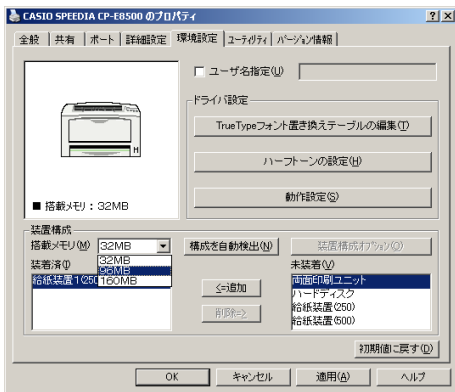
次の手順に従って、プリンタに両面印刷ユニットを取り付けます。

1 プリンタの電源スイッチを切り（①）、電源コードをコンセントから抜き（②）、プリンタから抜きます（③）。

2 両面印刷ユニットに付属している専用工具を差し込み、プリンタ背面の２か所のカバーを外します。

ポイント　外したカバーは、保管しておいてください。

3 両面印刷ユニットの左右の突起部をプリンタ背面の穴に差し込みます。

4 両面印刷ユニットの下部をプリンタに合わせます。
両面印刷ユニットのコネクタとプリンタのコネクタが接続されるようにしてください。

5 両面印刷ユニットの上カバーを開きます。

6 両面印刷ユニットの中央部を、両面印刷ユニットに付属しているネジで固定します。

7 両面印刷ユニットの上カバーを閉じます。

8 両面印刷ユニットの下部の左右2か所を､両面印刷ユニットに付属しているネジで固定します。

9 プリンタドライバの「プロパティ」画面を開き、「環境設定」タブ画面の「装置構成」に「両面印刷ユニット」を「追加」します。

※ 設定方法はWindowsのOSにより一部異なります。詳しくは☞ プリンタドライバマニュアル（19ページ）をご覧ください。

2.4 増設メモリモジュールを取り付ける

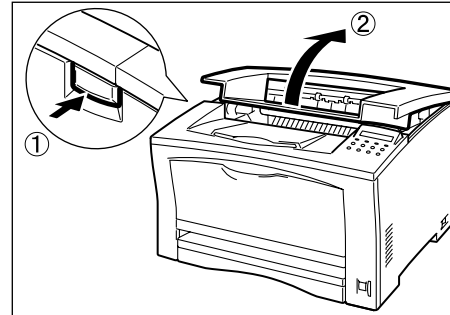
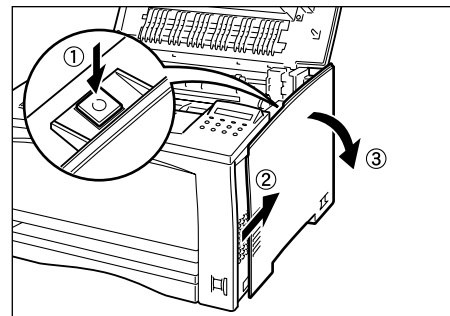
注意！ 増設メモリモジュールの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。
増設メモリモジュールのコネクタやICに手を触れないでください。

1 プリンタの左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、上トップカバーを開きます(②)。

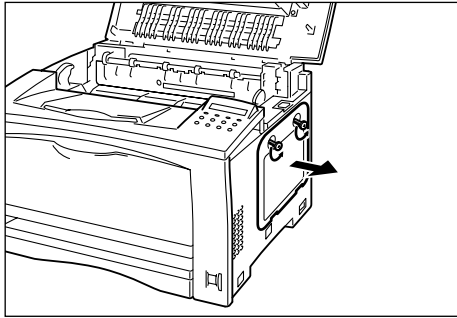
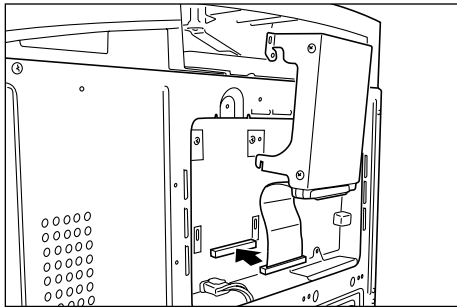
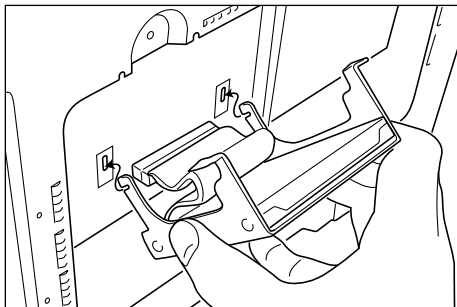
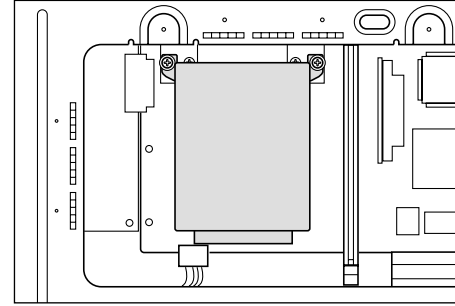
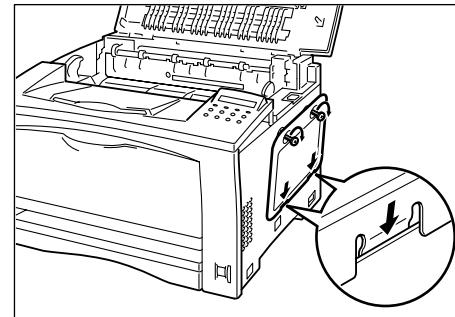
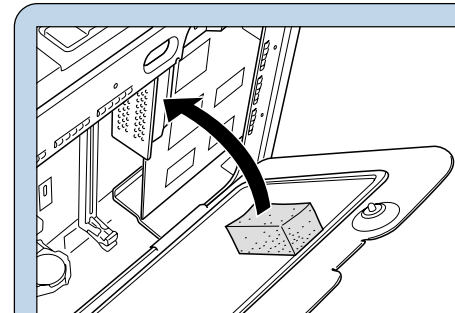
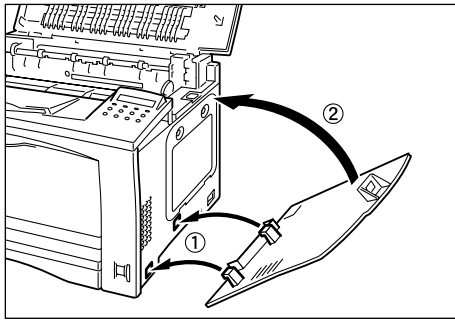
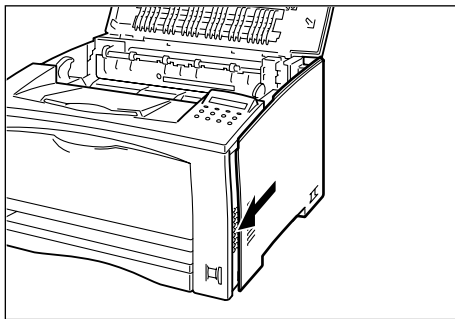
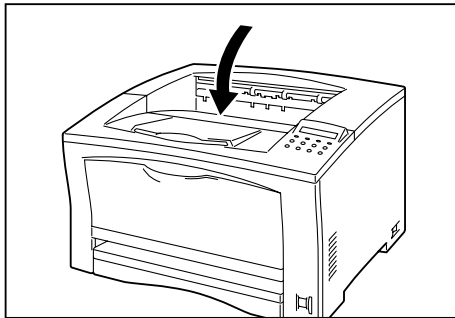
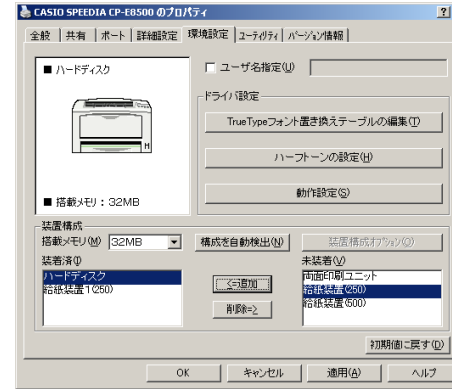
注意！ プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

2 プリンタの突起部を押しながら(①)、右カバーをプリンタの背面側にずらし(②)、手前に倒して外します（③)。

3 金属カバーの左右のネジをゆるめてカバーを開き、オプション品を取り付けます。

4 増設メモリモジュールの空きソケットに、増設メモリの切り欠きが図の向きになるように奥までしっかり差し込みます。

5 ソケット左右のロックレバーが内側に倒れて増設メモリモジュールを確実にロックしている事を確認します。

6 金属カバーの下部の突起部をプリンタの内側に入れてカバーを閉じ、左右をネジで固定します。

ポイント 金属カバー内側のスポンジが中継基板を上から押さえるように取り付けてください。

7 右カバー下側の２個所の突起を、プリンタ下部の穴に差し込み(①)、プリンタ本体側に倒します(②)。

8 右カバーをプリンタ前面側にずらし、上面カバーと前面カバーに、しっかりとはめ込みます。

9 トップカバーを閉じます。トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

10 プリンタドライバの「プロパティ」画面を開き、「環境設定」タブ画面の、「搭載メモリ」で、追加後のメモリ容量を選択します。

※ 設定方法はWindowsのOSにより一部異なります。詳しくは☞ プリンタドライバマニュアル（19ページ）をご覧ください。

- 図の例は64MBの増設メモリを取り付けた場合です。
  32MB（標準メモリ）
  +）64MB（増設メモリ）
  96MB
- プリンタ情報印刷（ステータスシート）を印刷して、メモリが正しく追加されているか確認できます。
  ☞ リファレンスマニュアル「設定値を確認する」（12ページ）

2.5 ハードディスクユニットを取り付ける

ハードディスクユニットの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。
ハードディスクユニットのコネクタやICに手を触れないでください。
ハードディスクユニットは衝撃に弱いため、取り付けの際に落としたりしないようご注意ください。

1 プリンタの左側面のリリースボタンを押してロックを解除し（①）、トップカバーを開きます（②）。

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

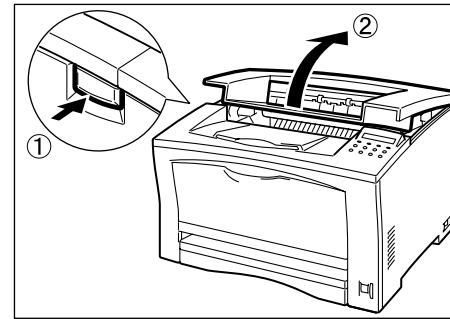
2 プリンタの突起部を押しながら（①）、右カバーをプリンタの背面側にずらし（②）、手前に倒して外します（③）。

3 金属カバーの左右のネジをゆるめてカバーを開き、オプション品を取り付けます。

4 ハードディスクユニットのハーネスを図のコネクタに差し込みます。

5 ハードディスクユニットのフック２ヶ所を図の位置に引っ掛けます。

6 ネジ2本で固定します。

7 金属カバーの下部の突起部をプリンタの内側に入れてカバーを閉じ、左右をネジで固定します。

ポイント
金属カバー内側のスポンジが中継基板を上から押さえるように取り付けてください。

8 右カバー下側の2個所の突起を、プリンタ下部の穴に差し込み(①)、プリンタ本体側に倒します(②)。

9 右カバーをプリンタ前面側にずらし、上面カバーと前面カバーに、しっかりとはめ込みます。

10 トップカバーを閉じます。トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

11 プリンタドライバの「プロパティ」画面を開き、「環境設定」タブ画面の「装置構成」に「ハードディスク」を追加します。

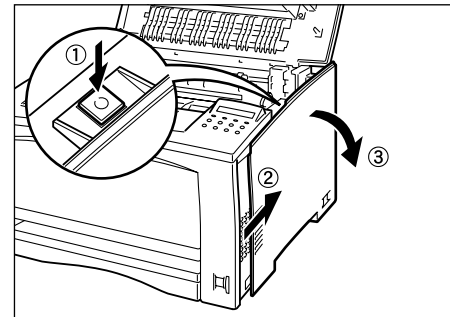
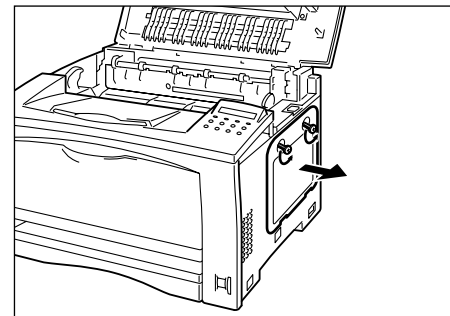
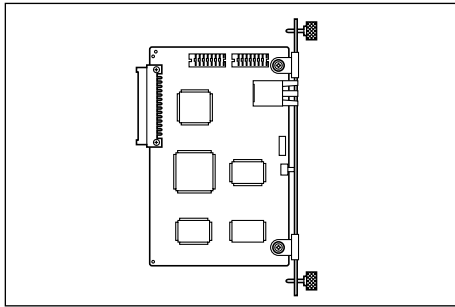
※ 設定方法はWindowsのOSにより一部異なります。詳しくはプリンタドライバマニュアル（19ページ）をご覧ください。

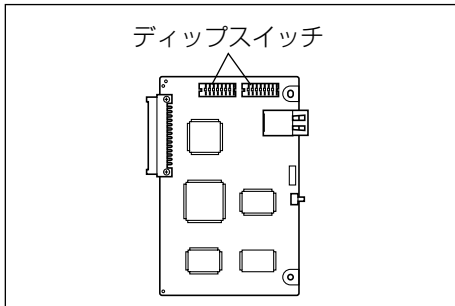
- 新しいハードディスクを使用する前にフォーマットを行なってください。
  リファレンスマニュアル「HDDフォーマット」（15ページ）
- セルフプリント（ステータスシート）を印刷して、ハードディスクが正しく追加されているか確認できます。
  リファレンスマニュアル「ii）設定値を確認する」（12ページ）

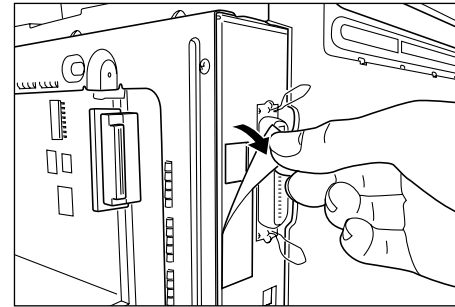
2.6 LAN I/F ボードの取り付け

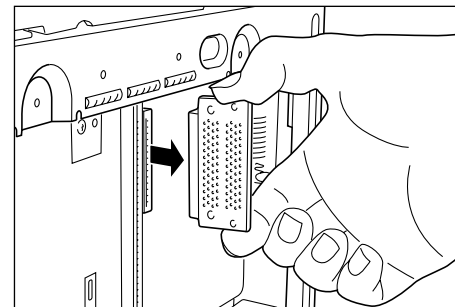
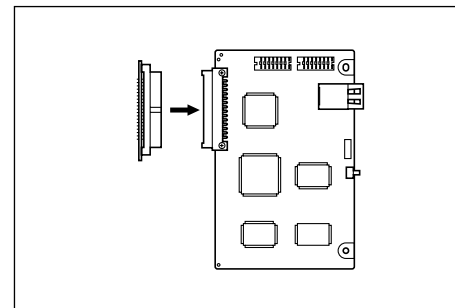
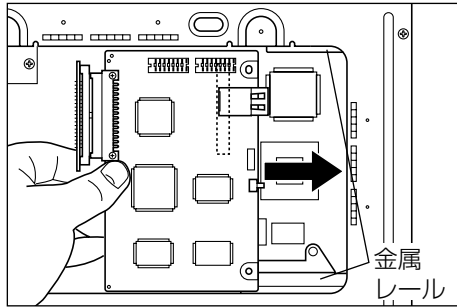
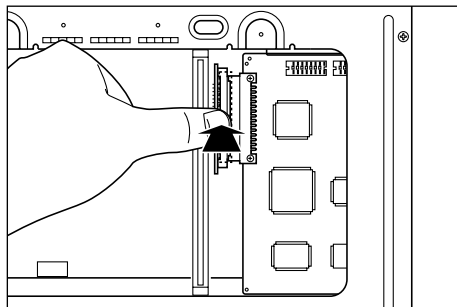
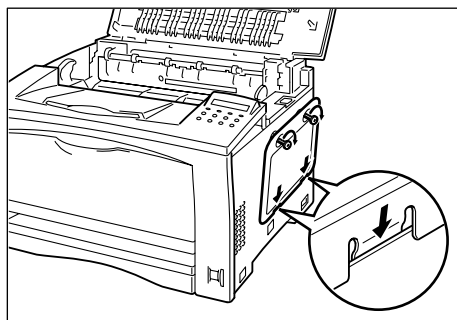
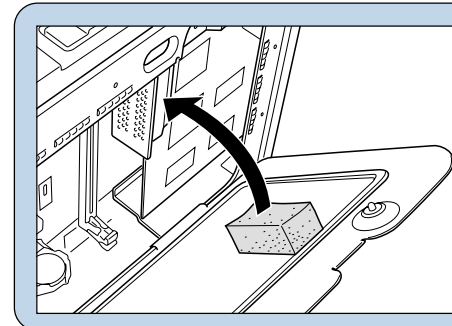
- 以下の手順はCP-E8500にオプションのLAN I/F ボードを取り付ける方法ですが、CP-E8500NW モデルには標準でLAN I/Fボードが実装されています。但し、ネットワークにプリンタを接続する為には、LAN I/F ボード上のディップスイッチ（CP-NW110）又はオペレーションパネル（CP-NW200T）でIPアドレスを設定する必要があります。(環境によっては設定用メモリを使用することにより、ディップスイッチによる設定が不要な場合もあります。)
- IP アドレス等の設定方法は、「CP-NW 110 ユーザーズマニュアル」又は「CP-NW200T ユーザーズマニュアル」をご覧の上、ネットワーク管理者にご相談ください。
  LAN I/Fボードの着脱方法は以下の手順をご覧ください。
- LAN I/Fボードの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

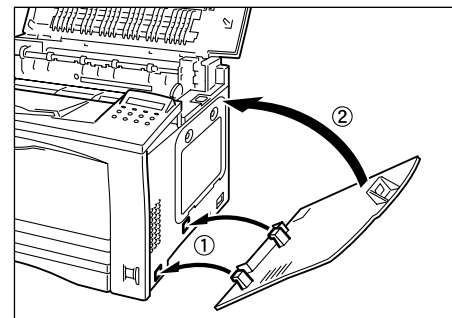
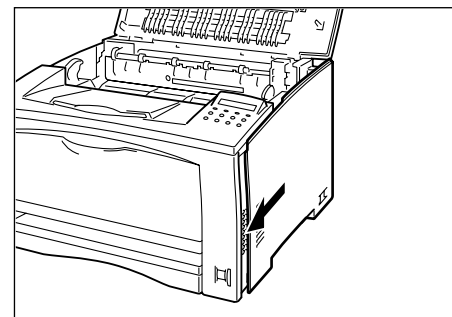
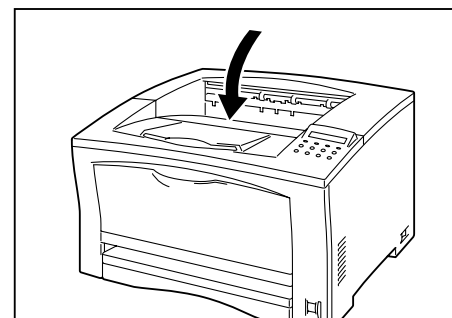
注意！ インターフェイスボードの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。インターフェイスボードのコネクタやICに手を触れないでください。

1 プリンタの左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、トップカバーを開きます(②)。

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

2 プリンタの突起部を押しながら(①)、右カバーをプリンタの背面側にずらし(②)、手前に倒して外します（③)。

3 金属カバーの左右のネジをゆるめてカバーを開き、オプション品を取り付けます。

4 LAN I/F ボードの図のネジ 2 本を取り外して金属の板を取り外します。

ポイント 金属の板は使用しません。

5 CP-NW110 の場合はLAN I/F ボードのディップスイッチでIPアドレスを設定します。
CP-8500NW，CP-NW200Tの場合はプリンタ本体の操作パネルで IP アドレスを設定します。

ポイント ネットワーク管理者にご相談の上､｢CP-NW110ユーザーズマニュアル｣又は｢NW200Tユーザーズマニュアル」を参照して IP アドレスを設定してください。

6 LAN ケーブル差込口をふさいでいるアルミシールをはがします。

ポイント アルミシールの糊が残ったときは、アルコールなどで拭き取ってください。

7 プリンタから中継基板を取り外します。

8 LAN I/F ボードに中継基板を取り付けます。

9 LAN I/F ボードをインターフェイスボックスの窓から入れて、LAN I/Fボードの先端を内部の金属レール 2 本の上に軽く押し当てながら、右奥に突き当たるまで差し込みます。

10 中継基板をプリンタのインターフェイス基板のコネクタに差し込みます。

11 金属カバーの下部の突起部をプリンタの内側に入れてカバーを閉じ、左右をネジで固定します。

ポイント

金属カバー内側のスポンジが中継基板を上から押さえるように取り付けてください。

12 右カバー下側の 2 個所の突起を、プリンタ下部の穴に差し込み(①)、プリンタ本体側に倒します(②)。

13 右カバーをプリンタ前面側にずらし、上面カバーと前面カバーに、しっかりとはめ込みます。

14 トップカバーを閉じます。トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

3. 用紙の補給

3.1 用紙について

使用できる用紙のサイズと枚数

各トレイにセットできる用紙のサイズと枚数は以下のとおりです。

給紙口	セットできる用紙サイズ	セットできる用紙枚数
ペーパカセット（A3 ユニバーサル）	A3、B4、A4、B5、A5、8.5 × 11"（レター）、不定形(幅：210 ～ 297mm、長さ：210 ～ 420mm）注意	250 枚
ペーパカセット（A4/500 枚）	A4	500 枚
マルチペーパフィーダ	A3、B4、A4、B5、A5、8.5 × 11"（レター）、官製はがき 不定形(幅：87 ～ 297mm、長さ：98 ～ 900mm）注意、長尺(297 × 900mm）注意	200 枚（長さ 421mm 以上は 1 枚）

プリンタドライバ画面およびサイズ設定ダイヤルにて設定した用紙サイズとは異なったサイズの用紙を使用して印刷しないでください。特に、設定したサイズの用紙よりも、幅がせまい用紙を使用して印刷すると、定着器が破損するおそれがあります。

定着器が破損するおそれのある使用例・・・

- **用紙サイズを A3 に設定している時に A3 用紙 短辺よりも幅の狭い用紙を印刷した。**

- **不定形、長尺(297 × 900mm）を使用する場合は、サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」に合わせてください。**
- **不定形サイズの用紙は、短辺を給紙口に向けてセットしてください。**
- **官製はがきは、一般的な無地のものをご使用ください。**
- **官製はがきは、長辺を給紙口に向けてセットしてください。**
- **官製はがき、不定形サイズ、長尺サイズの用紙及び特殊紙には、両面印刷はできません。**

使用できる特殊用紙の種類

マルチペーパフィーダにセットできる特殊用紙の種類は、以下のとおりです。

給紙口	セットできる特殊用紙
マルチペーパフィーダ	OHP フィルム、官製はがき、ラベル用紙、厚紙

使用できる用紙の厚さ

各給紙口には、次の厚さの用紙をご使用ください。

給紙口	メートル坪量	連量
ペーパカセット（A3 ユニバーサル）	60 ～ 90g/m²	52 ～ 77kg
ペーパカセット（A4）	60 ～ 90g/m²	52 ～ 77kg
マルチペーパフィーダ	60 ～ 135g/m² 190g/m²（官製はがき）	52 ～ 116kg 163kg

- **両面印刷をする場合は、メートル坪量 60 ～ 90g/m² の用紙を使用してください。**
- **メートル坪量とは、1m² の用紙 1 枚の質量をいいます。**
  連量とは、四六版（788 × 1,091mm）の用紙 1,000 枚の質量をいいます。

使用できない用紙

以下の用紙は、紙詰まりや故障の原因になりますので、使用しないでください。

- フルカラー用のOHPフィルムや、白い枠付きのOHPフィルム
- 一度印刷された用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 150℃の熱で変質するインクを使った用紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に換えてください。
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- しわや折れ、破れがある用紙
- 反っている（カールしている）用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 感熱紙
- 凹凸や止め金がある封筒
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙

用紙の保管と取り扱い

用紙を保管するときには、以下のことに気を付けてください。

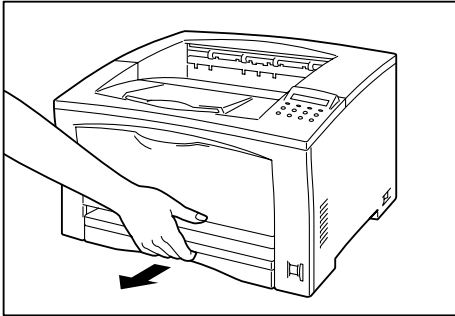
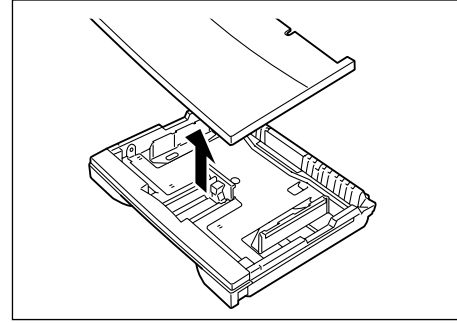
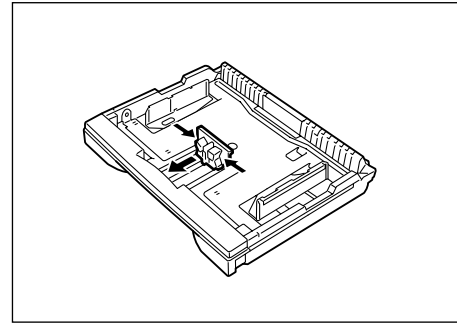
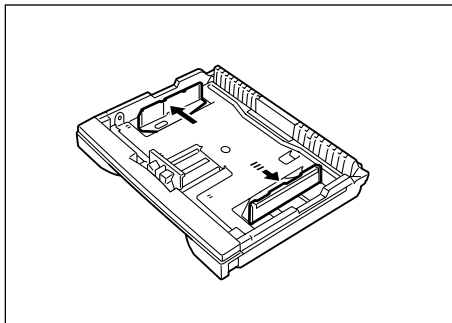
- 湿気が少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管してください。

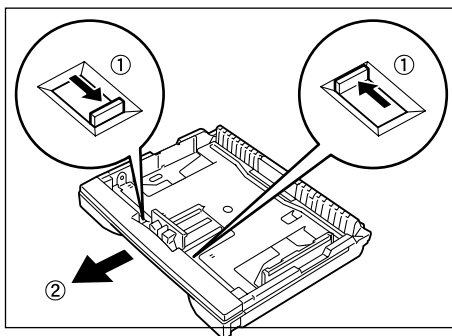
用紙をセットする前に、以下の事項を守ってください。

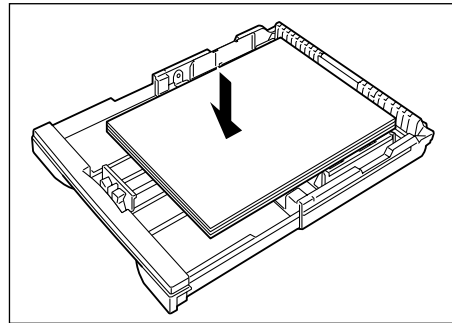
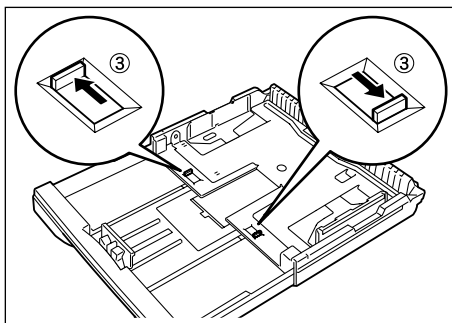
- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- しわや折れ、破れがある用紙は使用しないでください。
- サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHPフィルムやラベル用紙は、紙詰まりや複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてから使用してください。

3.2 A3ユニバーサルカセット（A3/250枚）に用紙をセットする

ここでは、本体のカセットにB4サイズの用紙をセットする場合を例に説明します。オプションの拡張ペーパフィーダ（A3/250枚）のカセットに用紙をセットする方法も同じです。

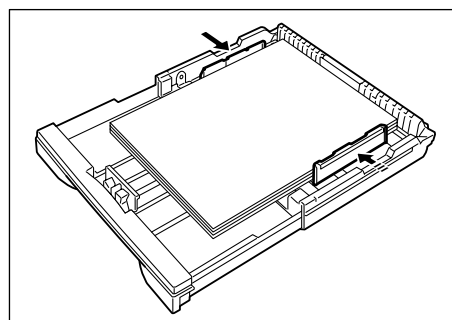
☞ A3ユニバーサルカセット（A3/250枚）にセットできる用紙の種類やサイズについては、「3.1 用紙について」（36ページ）を参照してください。

1 カセットをプリンタから引き抜き、平らな場所に置きます。

2 カセットのフタを取ります。

3 縦ガイドクリップを指でつまみ、外側いっぱいまでずらします。

4 左側の横ガイドを外側にずらします。

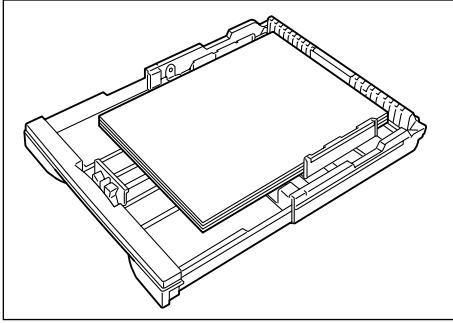
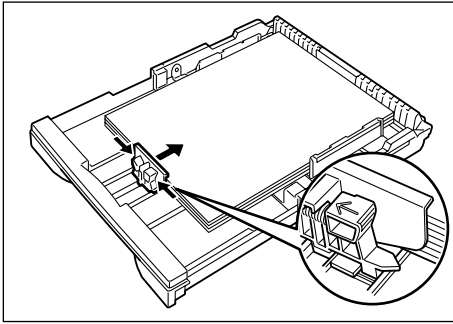
ポイント 同じサイズの用紙を補給する場合は、この操作は必要ありません。

用紙のサイズがA4サイズより大きい場合は、カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックを解除し（①）、カセットを手前にいっぱいまで引き出し（②）、カセットの左右の突起部を元に戻してロックします（③）。

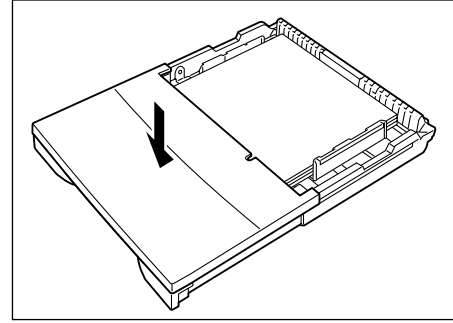
ポイント 用紙サイズがA4サイズより小さい場合はカセットを延長しないで使用してください。

5 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットします。

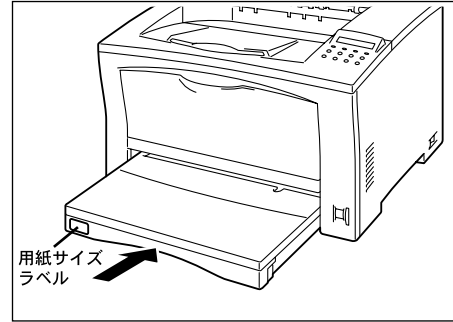
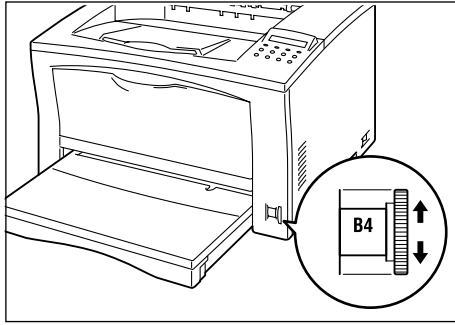
このとき、横ガイドに用紙がのり上げないようにしてください。

ポイント

- 折り目やシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数または用紙上限線を超える用紙をセットしないでください。

6 左側の横ガイドを内側にずらし、用紙の幅に合わせます。

ポイント 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

7 用紙の端をそろえます。

8 縦ガイドクリップを指でつまんで内側にずらし、セットした用紙サイズの刻印に合わせます。

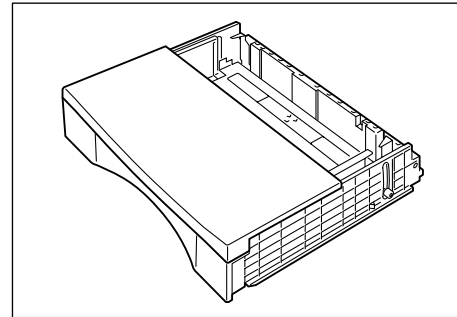
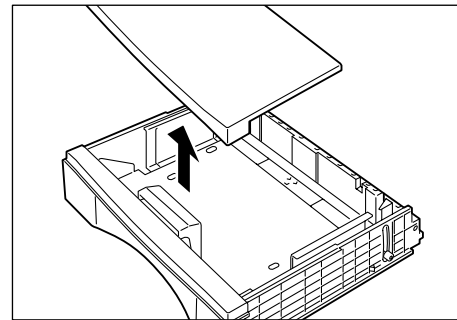
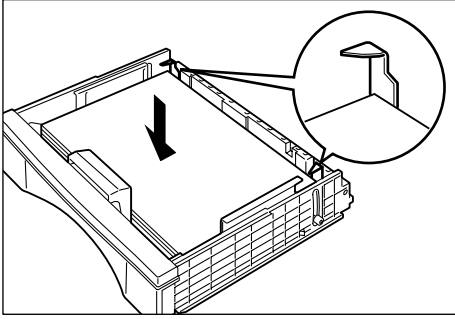
- 用紙の端は、縦ガイドクリップの突起の下に入れてください。
- 縦ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。縦ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因になることがあります。

9 カセットのフタを閉めます。

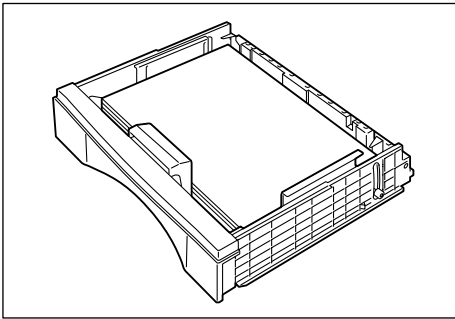
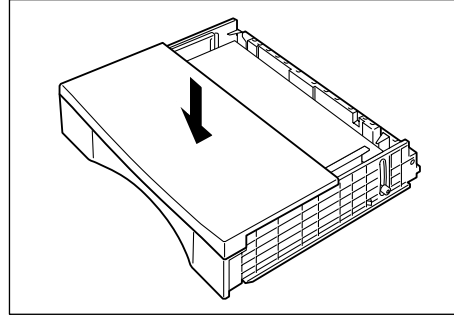
ポイント
カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれて紙詰まりの原因になることがあります。

10 カセットをプリンタの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。
カセットのサイズを固定してご使用になる場合は、セットする用紙サイズに合わせて、用紙サイズラベルを貼ります。

11 カセットのサイズ設定ダイヤルを、セットした用紙のサイズと向きに合わせます。

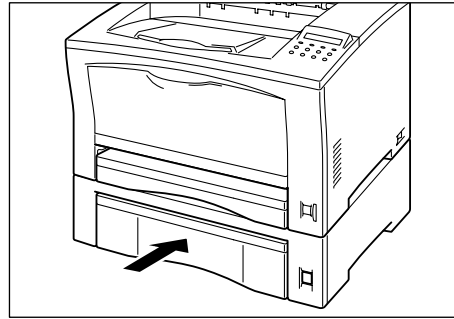
ポイント
- 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。
- 用紙の向きは、用紙の長辺を奥に差し込んだとき（横）で表現しています。
図はB4縦にセットした例です。

3.3 A4カセット（A4/500枚）に用紙をセットする

ここでは、オプションの拡張ペーパフィーダ（A4/500 枚）に用紙をセットする方法を説明します。

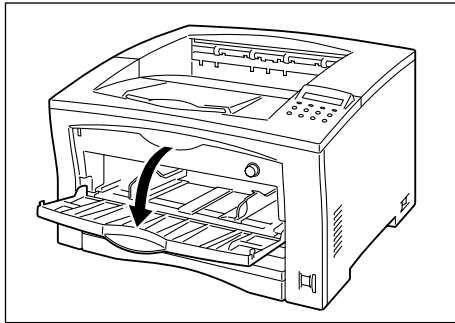
A4 カセット（A4/500 枚）にセットできる用紙については、「3.1 用紙について」（36 ページ）を参照してください。

1 カセットを平らな場所に置きます。

2 カセットのフタを取ります。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にして、左右のツメの下にセットします。
このとき、横ガイドに用紙が乗らないようにしてください。

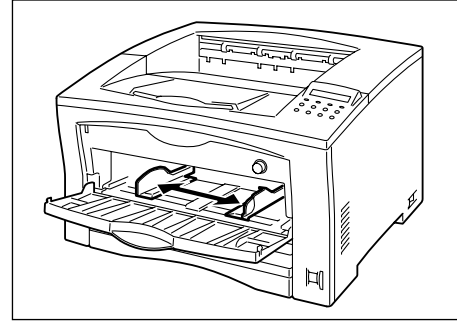
- 折りめやシワが入った用紙は、使用しないでください。
- 用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙が左右のツメの上に乗らないようにしてください。

4 用紙の端をそろえます。

5 カセットのフタを閉めます。

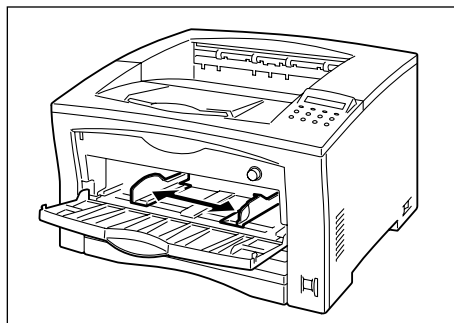
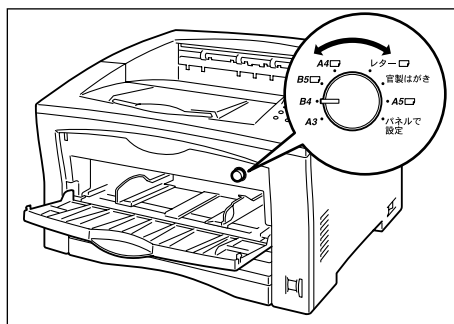
ポイント
カセットのフタは必ず閉めてください。フタを閉めないと、用紙がずれる原因になることがあります。

6 カセットを拡張ペーパフィーダの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

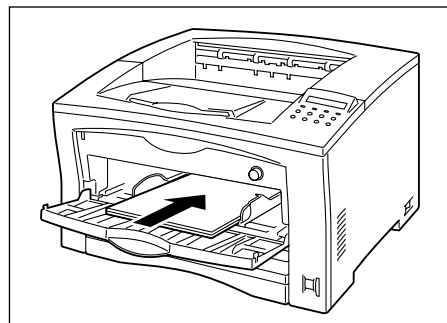
3.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする

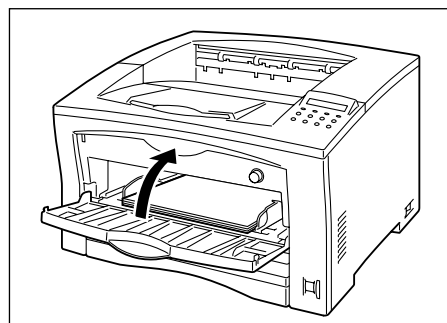
次の手順に従って、用紙をセットします。

☞ マルチペーパフィーダにセットできる用紙の種類やサイズについては、「3.1 用紙について」（36 ページ）を参照してください。

1 マルチペーパフィーダを開きます。

> ポイント
> マルチペーパフィーダに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せないでください。破損の原因になります。

2 サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

> ポイント
> - サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。
> - 同じサイズの用紙を補給する場合には、この手順は必要ありません。

3 マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズと向きに合わせます。

ポイント

- 該当するサイズや向きがない場合は、サイズ設定ダイヤルを「パネルで設定」に合わせ、操作パネルで設定してください。
- 印刷中は、サイズ設定ダイヤルを操作しないでください。プリンタが誤動作する場合があります。
- 用紙の向きは、用紙の長辺を奥に差し込んだときを□（横）で表現しています。
  図はB4縦にセットした例です。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

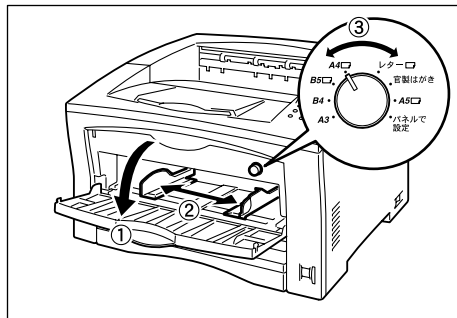
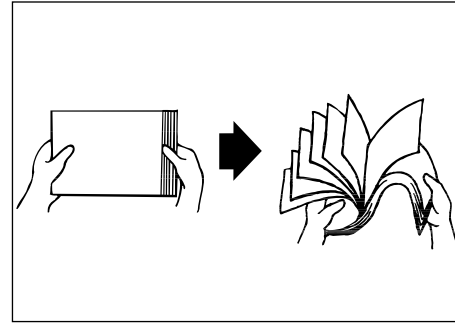
- 折り目やシワの入った用紙は、使用しないでください。
- 最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

5 セットした用紙の給紙方向の寸法が、A4サイズの短辺以下の場合は、マルチペーパフィーダを閉じて使用できます。

3.5 OHP フィルムや厚紙の印刷方法

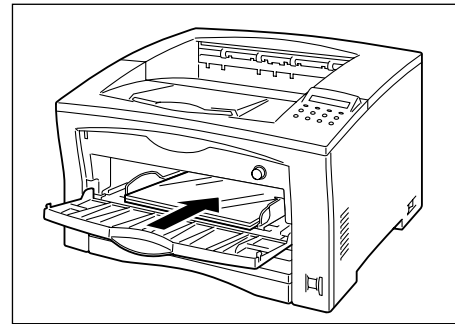
OHPフィルムや厚紙に印刷するときは、マルチペーパフィーダにセットします。

フルカラー用のOHPフィルムは、使用できません。適切でないOHPフィルムを使用すると、プリンタの故障の原因となる場合があります。

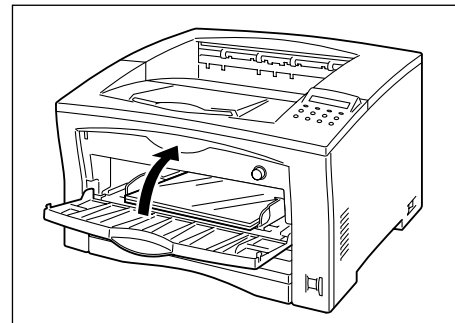
排出されたOHPフィルムが排紙トレイに重なると、静電気が発生し、紙詰まりになることがあります。OHPフィルムは、排紙されるたびに、取り除いてください。

次の手順に従って、マルチペーパフィーダにOHPフィルムをセットします。

1 マルチペーパフィーダを開き（①）、サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせ（②）、マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズと向きに合わせます（③）。

2 OHPフィルムを、少量ずつよくさばきます。

注 意

指を切らないようご注意ください。

3 OHPフィルムや厚紙を、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

ポイント

最大収容枚数を超えるOHPフィルムをセットしないでください。

4 セットしたOHPの給紙方向の寸法がA4サイズの短辺以下の場合は、マルチペーパフィーダを閉じて使用できます。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「CP-E8500ドライバ」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

※ OSの種類によりプリンタのプロパティ画面の表示方法が異なる場合があります。

5 OHPフィルムに印刷するときは「紙種」を「OHP」モードに設定してください。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「CP-E8500ドライバ」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

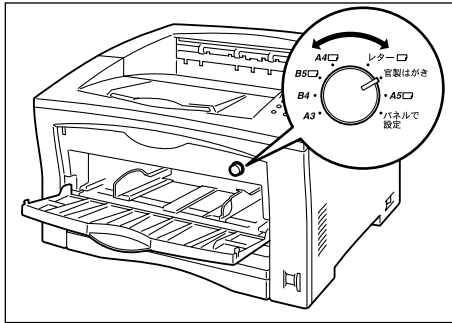
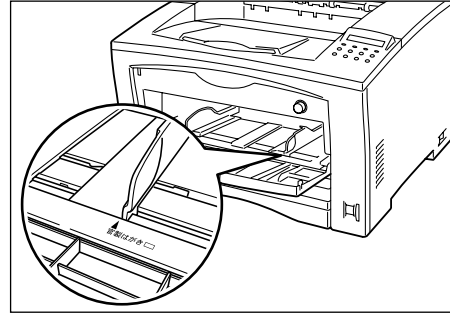
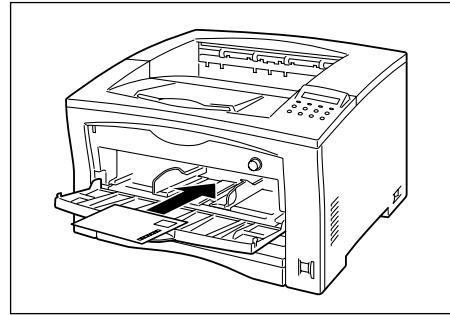
※ OSの種類によりプリンタのプロパティ画面の表示方法が異なる場合があります。

6 91g/m² (78kg) 以上の厚紙に印刷するときは「紙種」を「厚紙」モードに設定してください。「普通紙」モードのまま印刷すると、白地の部分が汚れたり、指でこすると印刷がかすれる事があります。

3.6 官製はがきの印刷方法

はがきに印刷するときは、マルチペーパフィーダに印刷する面を上にしてセットします。

- はがきは、長辺を給紙口に向けてセットしてください。
- 用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。

☞ 用紙のセット方法の詳細については、「3.4　マルチペーパフィーダに用紙をセットする」（44ページ）を参照してください。

1 マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、「官製はがき」に合わせます。

2 マルチペーパフィーダの用紙ガイドを、はがきサイズに合わせます。

3 印刷する面を上にして、はがきの郵便番号枠が向かって右側になるようにセットします。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「CP-E8500ドライバ」右クリック→「プロパティ」→「印刷書式」タブ画面

※ OSの種類によりプリンタのプロパティ画面の表示方法が異なる場合があります。

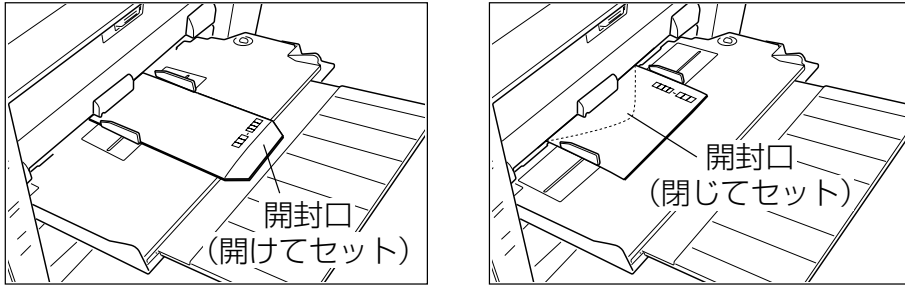
4 プリンタドライバの「印刷書式」タブ画面の「用紙サイズ」で「はがき」を選びます。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「CP-E8500ドライバ」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

※ OSの種類によりプリンタのプロパティ画面の表示方法が異なる場合があります。

5 「給排紙」タブ画面の「給紙」の「位置」を「MPF」にし、「紙種」を「厚紙」に設定して印刷します。

3.7 封筒の印刷方法

1 封筒に印刷するときは、表面(宛名を印刷する面)を上にして、図の向きにセットします。
裏面に印刷すると紙詰まりになる事があります。

2 プリンタドライバの「用紙サイズ」を「封筒ー○○○号」に設定してください。(○○○部分は使用する封筒のサイズを選んでください。)

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「CP-E8500 ドライバ」右クリック→「プロパティ」→「印刷書式」タブ画面

3 プリンタドライバの「給排紙」タブ画面で、「給紙」の「位置」を「MPF」に設定して印刷します。

注意!

以下のような封筒は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

- 開封口にのりが付いている封筒
- 窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒
- 箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒
- 大きく反った封筒
- 二重(内張りがある)封筒

3.8 不定形サイズ用紙の印刷方法

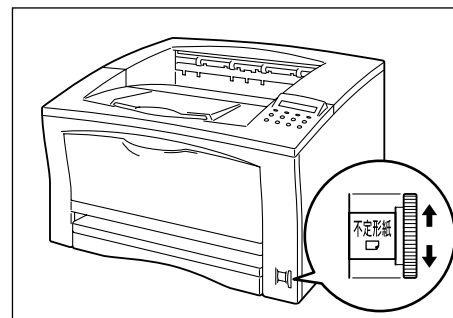
※ ここで説明する不定形サイズの用紙とは長さが420mm以下の用紙です。420mm より長い長尺紙の印刷方法は ☞「3.9　長尺紙の印刷方法」(54ページ) を参照してください。

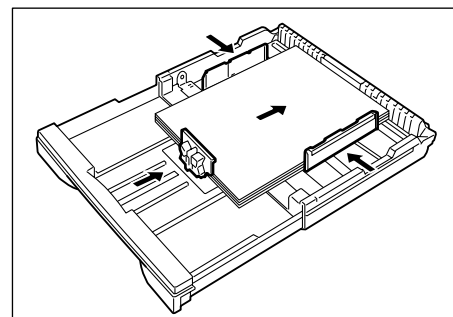
不定形サイズは、A3 ユニバーサルカセット（A3/250 枚）、または、マルチペーパフィーダにセットします。

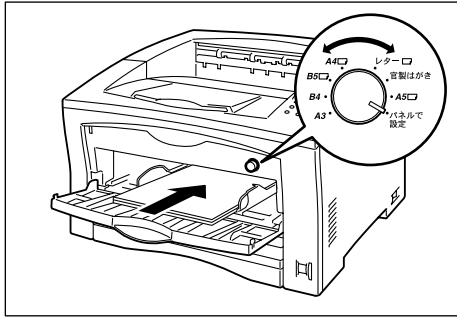
- **不定形サイズの用紙は、短辺を給紙口に向けてセットしてください。**
- **各カセット（トレイ）にセットできる不定形サイズは、次のとおりです。**
  - **A3ユニバーサルカセット(A3/250枚)の場合—幅:210〜297mm、長さ:210〜420mm**
  - **マルチペーパフィーダの場合—幅：100 〜 297mm、長さ：148 〜 431mm**
- **用紙上限線を超えて、用紙をセットしないでください。**

☞ 長尺紙（297 × 900mm）に印刷する場合は、「3.9 長尺紙の印刷方法」（54 ページ）を参照してください。

☞ 用紙のセット方法の詳細については、「3. 用紙の補給」（36 ページ）を参照してください。

A3 ユニバーサルカセット（A3/250 枚）にセットする場合

1 **拡張ペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、「不定形紙」に合わせます。**

2 **用紙を、印刷する面を上にしてセットします。**

3 **ペーパカセットの横ガイド、縦ガイドを、セットした用紙サイズに合わせます。**

マルチペーパフィーダにセットする場合

1 マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、「パネルで設定」に合わせます。

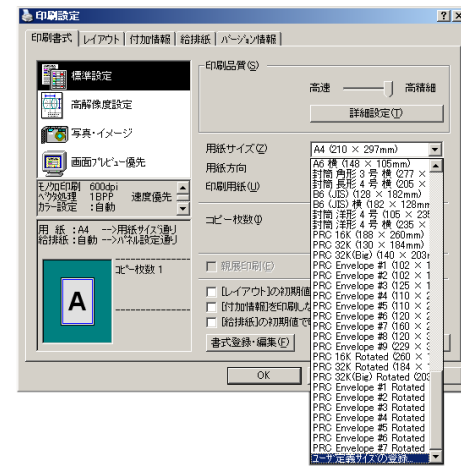
2 用紙を、印刷する面を上にして、セットします。

3 マルチペーパフィーダの用紙ガイドを、セットした用紙サイズに合わせます。

プリンタドライバの設定

不定形用紙に印刷するときは、「ユーザ定義サイズの登録」ダイアログボックスで不定形サイズを設定する必要があります。

> **ポイント** ここではWindows XPのワードパッドを例に説明します。OSやアプリケーションによって設定方法は異なります。また、OSやアプリケーションによっては不定形サイズがサポートされていないものがあります。各OSやアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

「ファイル」→「印刷」→「CASIO SPEEDIA CP-E8500」→「詳細設定」→「印刷書式」タブ

1 プリンタドライバの「印刷書式」タブ画面の「用紙サイズ」で「ユーザ定義サイズの登録」を選びます。

2 登録用紙名（例：不定形）とプリンタにセットした用紙サイズを入力し、「用紙登録実行」をクリックして「OK」をクリックします。

3 「給排紙」タブをクリックして「給紙」の「位置」に用紙をセットした給紙口を選んで「OK」をクリックします。

4 「印刷」をクリックすると印刷を開始します。

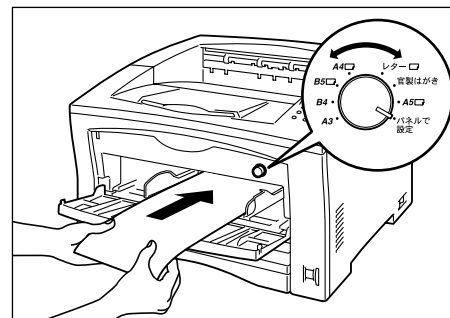
プリンタドライバ画面およびサイズ設定ダイヤルにて設定した用紙サイズとは異なったサイズの用紙を使用して印刷しないでください。特に、設定したサイズの用紙よりも、幅がせまい用紙を使用して印刷すると、定着器が破損するおそれがあります。

定着器が破損するおそれのある使用例・・・
- 用紙サイズをA3に設定している時にA3用紙 短辺よりも幅の狭い用紙を印刷した。

3.9 長尺紙の印刷方法

※ ここで説明する長尺紙とは長さが420mmより長い用紙です。420mmより短い用紙の印刷方法は☞「3.8 不定形サイズの印刷方法」(51 ページ)を参照してください。
※ 420mmより長い長尺紙は必ず幅が297mmの用紙をご使用ください。

長尺紙(297×900mm)は、マルチペーパフィーダに1枚ずつセットして印刷します。

ポイント 長尺紙(297×900mm)に印刷するには、オプションの増設SDRAMモジュール(64MB)が必要です。

1. マルチペーパフィーダのサイズ設定ダイヤルを、「パネルで設定」に合わせます。
2. マルチペーパフィーダの用紙ガイドを、長尺紙(297×900mm)の短辺に合わせます。
3. 用紙を、印刷する面を上にして、セットします。

ポイント 長尺紙(297×900mm)は、1枚ずつ手で支えながら給紙してください。

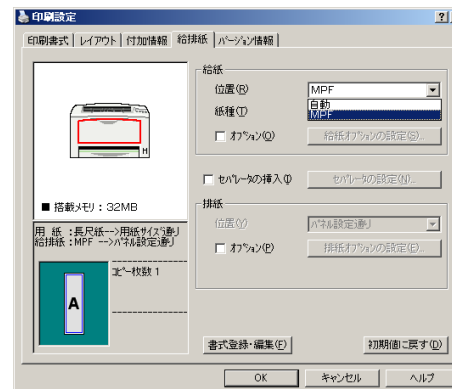
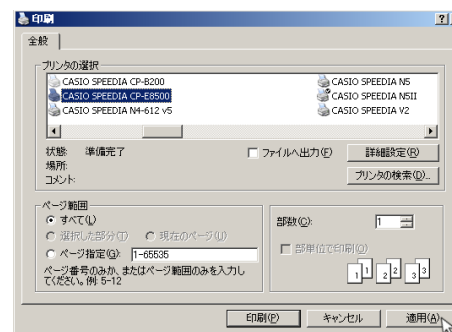
プリンタドライバの設定

長尺紙に印刷するときは、用紙サイズを長尺紙（297 × 900mm）に設定し、給紙位置をMPFに設定して印刷します。

ポイント ここでは Windows XP のワードパッドを例に説明します。OSやアプリケーションによって設定方法は異なります。また、OS やアプリケーションによっては不定形サイズがサポートされていないものがあります。各OSやアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

「ファイル」→「印刷」→「CASIO SPEEDIA CP-E8500」→「詳細設定」→「印刷書式」タブ

1 プリンタドライバの「印刷書式」タブ画面の「用紙サイズ」で「長尺紙（297 × 900mm）」を選びます。

注意！ ユーザ定義サイズの登録により、任意のサイズの長尺紙も設定できますが、長さ 420mm 以上の長尺紙は、必ず幅が297mmの用紙をご使用ください。定着ユニットの故障の原因になることがあります。

2 「給排紙」タブをクリックして「給紙」の「位置」に「MPF」を選んで「OK」をクリックします。

3 「印刷」をクリックすると印刷を開始します。

4. こんなときには

お困りの内容が次のどれに当てはまるか選んで該当するページをクリックしてください。
どうしても解決しないときは「お問い合わせ先」をクリックして、それぞれのお問い合わせ先にご連絡ください。

4.1 メッセージが表示されたとき 57ページ

4.2 印刷がはじまらないとき 61ページ

4.3 画像トラブルの直し方 64ページ

4.4 その他のトラブル 70ページ

4.5 プリンタの清掃について 72ページ

4.6 プリンタを長期間使用しないときは 74ページ

4.7 プリンタを移動するときは 75ページ

4.8 定期交換部品について 78ページ

4.9 お問い合わせ先 79ページ

4.1 メッセージが表示されたとき

オペレータコール

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
カセットサイズ゛　カクニン ＣＰＦ１　２　３	下段に表示されているペーパカセットに使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパカセットの用紙サイズダイヤルが正しい位置にありません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	正しく用紙をセットして、用紙サイズダイヤルをセットした用紙サイズの位置にあわせてください。	39
インサツヨウシ　フテキゴウ	印刷した用紙サイズが指定した用紙サイズと違っています。	正しい用紙をセットしてください。	39
カバ゛ーオープ゜ン ■■■■■■■■■	カバーが開いています。 ■■■■：カバーの種類を表します。 トップカバー、リョウメンカバー	表示されているカバーをきちんと閉めてから印刷を開始してください。 リョウメンカバー： オプションの両面印刷ユニットのカバー 注）カバーオープン時にブザーは鳴りません！	17
カミヅ゛マリ ■■■■■■■■■	紙詰まりが起こりました。 ■■■■：紙詰まりが起きた場所を表します。 キュウシ、タイキ、ハンソウ、ハイシ、リョウメンウエ、リョウメンシタ、リョウメンホンタイ：	詰まった用紙を取り除いてください。 注）紙詰まりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙が詰まっている可能性もあります。	80

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ド゛ラムトナー　コウカン	ドラムトナーセットが寿命になりました。	ドラムトナーセットを新しいものと交換してください。	88
ド゛ラムトナー　コウカンジキ	ドラムトナーセットの寿命が残り700ページ以内で印刷を再開している状態です。	新しいドラムトナーセットをご準備ください。	88
ド゛ラムトナー　コウカンヨコク	ドラムトナーセットの寿命が近くなりました。	新しいドラムトナーセットをご準備ください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	88
ド゛ラムトナー　ミソウチャク	ドラムトナーが取り付けられていません。または、正しく取り付けられていません。	ドラムトナーセットを正しく取り付けてください。	88
ド゛ラムトナー　イジョウ	ドラムトナーに正常な物が取り付けられていません。	ドラムトナーに正常な物を取り付けてください。	－
ヨウシカセット　ナシ ＣＰＦ１　２　３	下段に表示されているペーパカセットがプリンタに取り付けられていません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	ペーパカセットを、プリンタの奥まで確実に取り付けてください。 用紙サイズダイヤルのサイズ表示が、表示窓の中央にくるように合わせてください。	39 42
ヨウシ　ホキュウ　※※※※ ★★★★★	用紙がなくなりました。 ★★： 給紙口を表わします。 CPF1、CPF2、CPF3、MPF ※※： 用紙サイズを表わします。	各給紙部に用紙を補給してください。	39 42
リョウメンユニット　ミソウチャク	両面印刷装置が装着されていません。	両面印刷装置を取り付け直してください。	26

警告エラー

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
ﾗﾝ ﾎﾞｰﾄﾞ ｲｼﾞｮｳ ﾎﾞｰﾄﾞ ｶｸﾆﾝ	LANボードが正しく装着できていない、あるいは、LANボードに異常が発生しました。	電源切断した後、ボードが奥まで正しく差し込まれているか確認してください。ボードを正しく装着して、もう一度電源を入れ直してください。それでも左記メッセージを表示している場合は、LANボードを交換してください。	33
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐｴﾗｰ	ハードディスクにデータを書き込む事ができません。	取消 ボタンを押して、エラーをスキップしてください。もう一度データを送り直してください。	−
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾃﾞｰﾀｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消 ボタンを押して、エラーをスキップしてください。異常箇所を削除します。	−
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾌｫｰﾏｯﾄｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消 ボタンを押して、エラーをスキップしてください。ハードディスクのフォーマットを実行してください。	リファレンスマニュアル 15
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾐｿｳﾁｬｸ	ハードディスクが装着されていません。	取消 ボタンを押して、エラーを解除してください。ハードディスクを取り付けてください。	30
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ｱｷﾖｳﾘｮｳ ﾌｿｸ	ハードディスクに空き容量がありません。	取消 ボタンを押して、エラーをスキップしてください。不要なデータを削除してください。	−
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾖﾐﾀﾞｼｴﾗｰ	ハードディスクからデータを読み込む事ができません。	取消 ボタンを押して、エラーをスキップしてください。	−

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
メモリオーバ゛ー メモリガ゛タリマセン	メモリ容量不足で印刷ができません。	取消 ボタンを押して、エラーを解除してください。別売の増設メモリモジュールを取り付けて、全体のメモリ容量を増やしてください。または解像度を下げて印刷してください。	28
ヨウシ　コウカン　※※※※ ★★★★★	印刷しようとしたサイズの用紙がプリンタにセットされていません。 ★★：給紙口を表わします。 CPF1、CPF2、CPF3、MPF ※※：用紙サイズを表します。	表示されている給紙口に、表示されているサイズの用紙を入れ、取消 ボタンを押してください。用紙を交換せずに 取消 ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。	36

エラーメッセージ

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
サービ゛ス　ニ　レンラク！！ 1×× Controller Error 2××	プリンタの修理が必要です。 1××又は2××には3桁の数字が表示されます。	一度電源をOFFにし、数分後に電源をONにします。再度表示されたときは、1××又は2××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	79
Internal Error 3××	プリンタ内部にエラーが発生しました。 3××には3桁の数字が表示されます。	電源を再投入すると復旧します。再度表示されたときは、3××の数字を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。	79

4.2 印刷がはじまらないとき

パソコンから印刷を実行しても印刷がはじまらないときは、以下のことを確認してください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
電源が入っていますか？	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを確認した後、電源スイッチを「❙ On」側にしてください。
オンラインランプが点灯していますか？	「オンライン」ボタンを押して、オンラインランプを点灯させてください。
メッセージランプは点灯していませんか？	点灯しているときは、ディスプレイのメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。☞ 4.1 メッセージが表示されたとき（57ページ）
用紙はセットされていますか？	ペーパカセットやマルチペーパフィーダに用紙をセットしてください。 ☞ 3.2 A3ユニバーサルカセット（A3/250枚）に用紙をセットする（39ページ） ☞ 3.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする（44ページ）
指定した給紙口の用紙サイズと用紙サイズダイヤルの設定は合っていますか？	用紙設定ダイヤルをセットしている用紙サイズに合わせてください。 ☞ 3.2 A3ユニバーサルカセット（A3/250枚）に用紙をセットする（39ページ） ☞ 3.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする（44ページ）
ステータスシートの印刷ができますか？	ステータスシートの印刷ができない場合は、本機が故障している可能性があります。お近くのカシオテクノ・コールセンターに相談してください。 ☞ リファレンスマニュアル「設定値を確認する」（12ページ）
プリンタケーブルがきちんと接続されていますか？	プリンタケーブルがパソコン、プリンタにしっかりと接続されていることを確認します。コネクタに金具が付いているときは、金具を使用して固定します。
プリンタケーブルは適切なものを使用していますか？	使用するプリンタケーブルは使用するパソコンの機種によって異なります。適切なプリンタケーブルを使用してください。断線が考えられるときは、ほかのケーブルを接続して確認してください。

確認すること	原因・対処方法・参照先
印刷実行後、データランプが点滅・点灯しますか？	印刷を実行してもデータランプが点滅･点灯しないときは、プリンタにデータが届いていません。 • パソコンとケーブルで接続しているとき 印刷ポートの設定が適切かどうかを確認してください。印刷ポートの確認方法は次ページを参照してください。 • パソコンとネットワークで接続しているとき ネットワークの管理者に相談してください。

■ データランプが点滅・点灯しないときの、印刷ポートの確認方法は以下のとおりです。

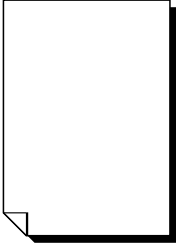
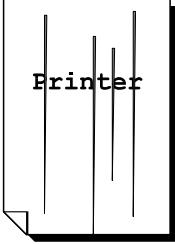
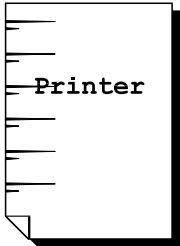
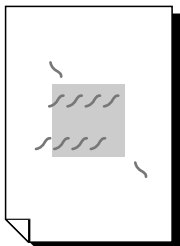
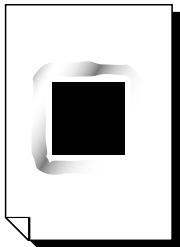
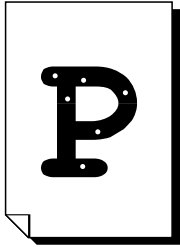
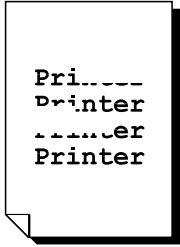
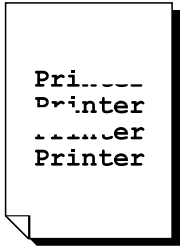
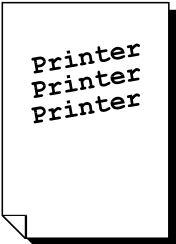
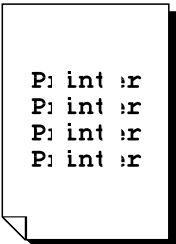
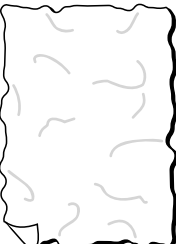
● パソコンとプリンタケーブルで直接接続しているとき

印刷ポートの設定が適切かどうか確認してください。パラレルインターフェイスで接続しているときは、LPT1またはLPT2に設定します。

• Windows95/98/Meの場合

①「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントし、「プリンタ」をクリックします。
②本機のアイコンをクリックして反転表示させ、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックします。
③「詳細」タブをクリックします。
④「印刷先のポート」ボックスで正しいポートを選択します。

• Windows2000/XPの場合

①「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントし、「プリンタ」をクリックします。
②本機のアイコンをクリックして反転表示させ、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックします。
③「ポート」タブをクリックします。
④「印刷するポート」ボックスで正しいポートを選択します。

• WindowsNT4.0の場合

①「スタート」ボタンをクリックし、「設定」をポイントし、「プリンタ」をクリックします。
②本機のアイコンをクリックして反転表示させ、「ファイル」メニューの「プロパティ」をクリックします。
③「ポート」タブをクリックします。
④「印刷するポート」ボックスで正しいポートを選択します。

4.3 画像トラブルの直し方

印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近いと思われる症状を選び、処置を行なってください。
該当する処置を行なっても印刷品質が改善されない場合は、販売店またはカシオテクノ・コールセンター（79ページ）までご連絡ください。

症状	チェック項目	対処方法
何も印刷されない	ドラムトナーセットのトナーシールは、引き抜かれていますか。	トナーシールを引き抜いてください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されていませんか。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてください。そのあと、用紙をセットしてください。
	ドラムトナーセットが、劣化または破損していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
	ドラムトナーセットは、正しくセットされていますか。	ドラムトナーセットを正しくセットしなおしてください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
用紙全体が黒く印刷される。	ドラムトナーセットが、劣化または破損していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)

症状	チェック項目	対処方法
印刷が薄い、かすれる Printer	ドラムトナーセット内のトナーが片寄っていませんか。	ドラムトナーセットを取り出して中のトナーが均一になるようにかるく振ってください。 ポイント トナーがこぼれることがありますので、紙を敷いて振ってください。
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 「付録2. 用紙について」(95ページ)
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 「3. 用紙の補給」(36ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
	ドラムトナーセットの交換時期ではありませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
汚れの点が印刷される Printer	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 「付録2. 用紙について」(95ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
黒線が印刷される Printer	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)

症状	チェック項目	対処方法
等間隔に汚れが起きる Printer	用紙の搬送路に汚れが付着している可能性があります。	汚れを取るために、何枚か印刷してください。
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
黒のハーフトーンの中や外にヒゲのようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 「3. 用紙の補給」(36ページ)
黒く塗りつぶされた部分の周りに影のようなものが印刷される	開封したまま長時間放置した用紙を使用していませんか(特に湿度が低い場合)。	新しい用紙と交換してください。 「3. 用紙の補給」(36ページ)

症状	チェック項目	対処方法
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れる	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 「付録2. 用紙について」(95ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
指でこするとかすれる	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 「3. 用紙の補給」(36ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 「付録2. 用紙について」(95ページ)
部分的に白抜けする	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 「3. 用紙の補給」(36ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 「付録2. 用紙について」(95ページ)

症状	チェック項目	対処方法
斜めに印刷される 思った位置に印刷されない	カセットのガイドは正しい位置にセットされていますか。	カセットの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)
	マルチページパフィーダに正しくセットされていますか。	用紙をマルチページパフィーダに正しくセットしてください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)
縦長に白抜けする	ドラムトナーセットは正しくセットされていますか。	ドラムトナーセットを正しくセットしなおしてください。 ☞「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
	ドラムトナーセットが劣化または損傷していませんか。	新しいドラムトナーセットに交換してください。 ☞「6. ドラムトナーセットの交換」(88ページ)
用紙にシワがつく	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞「付録2. 用紙について」(95ページ)
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)
	用紙は正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしてください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)

症状	チェック項目	対処方法
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 「3. 用紙の補給」(36ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 「付録2. 用紙について」(95ページ)

4.4 その他のトラブル

症状	チェック項目	対処方法
OHPフィルムにきれいに印刷されない	適切なOHPフィルムを使用していますか。	使用できるOHPフィルムをセットしてください。 ☞「付録2. 用紙について」(95ページ)
	マルチペーパフィーダに正しくセットしていますか。	OHPフィルムをマルチペーパフィーダに正しくセットしてください。 ☞「3.5 OHPフィルムや厚紙の印刷方法」(46ページ)
はがきにきれいに印刷されない	適切なはがきを使用していますか。	使用できるはがきをセットしてください。 ☞「付録2. 用紙について」(95ページ)
	マルチペーパフィーダに正しくセットしていますか。	はがきをマルチペーパフィーダに正しくセットしてください。
封筒にきれいに印刷されない	適切な封筒を使用していますか。	使用できる封筒をセットしてください。 ☞「付録2. 用紙について」(95ページ)
	マルチペーパフィーダに正しくセットしていますか。	封筒をマルチペーパフィーダに正しくセットしてください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)

症状	チェック項目	対処方法
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる	用紙は正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしてください。また、OHPフィルム、はがき、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。 ☞「3.5 OHPフィルムや厚紙の印刷方法」(46ページ)
	用紙が湿気を含んでいませんか。	新しい用紙と交換してください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)
	適切な用紙を使用していますか。	使用できる用紙をセットしてください。 ☞「付録2. 用紙について」(95ページ)
	カセットが外れていませんか。	カセットをプリンタの奥までしっかり押し込んでください。
	用紙が詰まっていませんか。	詰まった用紙を取り除いてください。 ☞「5. 紙詰まりの処置」(80ページ)
	プリンタは水平な場所に設置されていますか。	プリンタを安定した平面の上に移動してください。
	カセットのガイドは、正しい位置にセットされていますか。	カセットの縦、横のガイドを正しい位置にセットしてください。 ☞「3. 用紙の補給」(36ページ)
異常な音がする	プリンタの設置場所は、水平ですか。	プリンタを安定した平面の上に移動してください。
	トップカバーが開いていませんか。	トップカバーをしっかりと閉じてください。
	カセットが外れていませんか。	カセットをプリンタの奥までしっかり押し込んでください。
	プリンタ内に異物が入っていませんか。	電源を切り、プリンタ内部の異物を取り除いてください。 ポイント プリンタを分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。

4.5 プリンタの清掃について

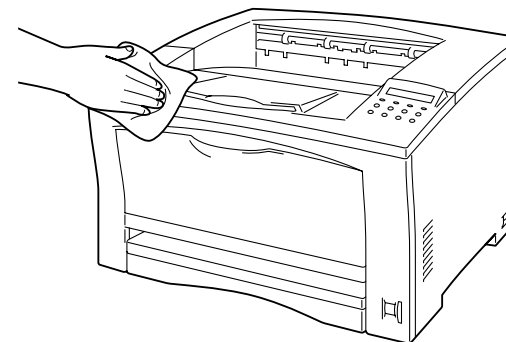
プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるようにするため、プリンタの清掃の方法について説明します。

⚠ 注 意

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

プリンタ外部の清掃

約１か月に１回、プリンタの外部を清掃してください。プリンタの外側を、水でぬらして固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注意！ **洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因となることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。**

プリンタ内部の清掃

紙詰まりの処置やドラムトナーセットの交換のあとは、トップカバーを閉める前に内部の点検を行なってください。

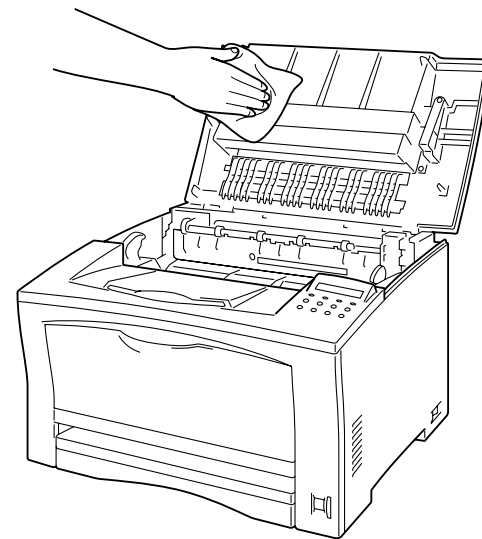
注 意

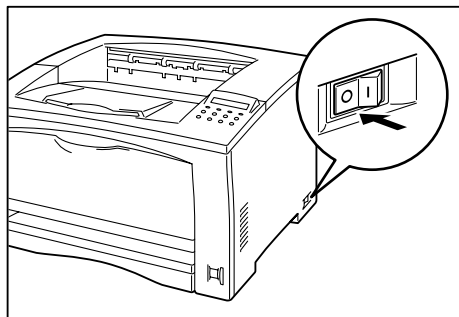
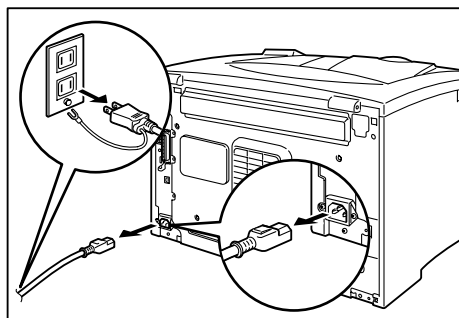
「高圧注意」を促すラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。感電の原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。

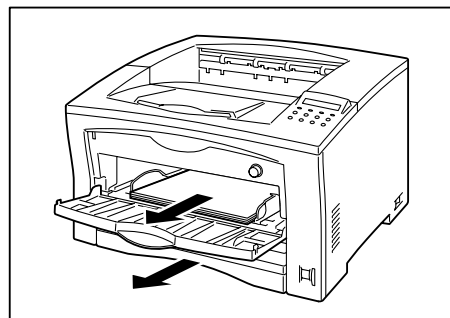
点検方法

- 紙片が残っている場合は、取り除きます。
- ホコリや汚れなどがある場合は、乾いた清潔な布などでふき取ります。

4.6 プリンタを長期使用しないときは

プリンタを長期間使用しないことが予想されるときは、最後に使用したあと、必ず次の作業を行なってください。

1 プリンタの電源スイッチの「○」側を押し、電源を切ります。

2 電源コード、プリンタケーブルなど、すべての接続コードを外します。

⚠ 注 意

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 マルチペーパフィーダ、カセットから用紙を取り外し、湿気やホコリのない場所に保管します。

☞ 用紙の保管については、「付録 2. 用紙について」（95 ページ）を参照してください。

4.7 プリンタを移動するときは

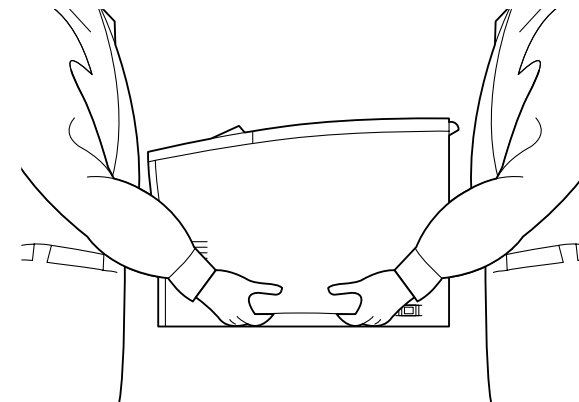
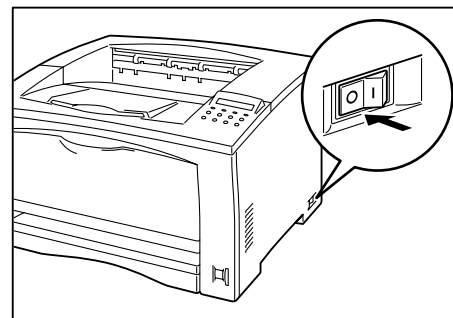
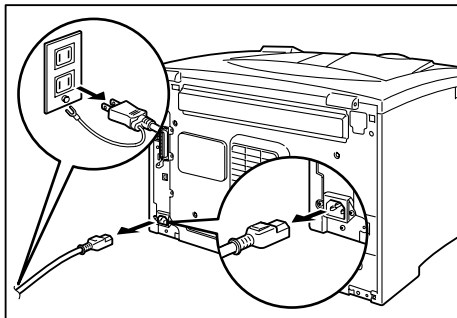
プリンタを移動するときは、次の手順に従ってください。

注 意

プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

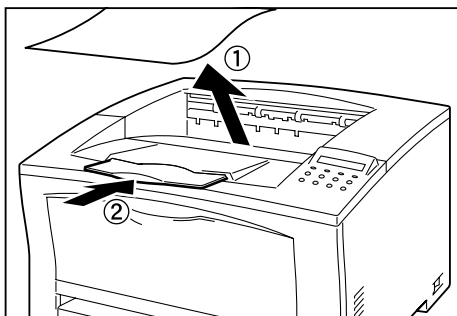
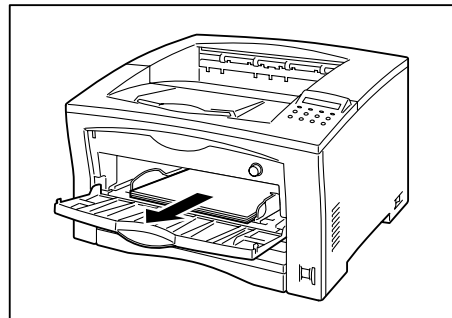
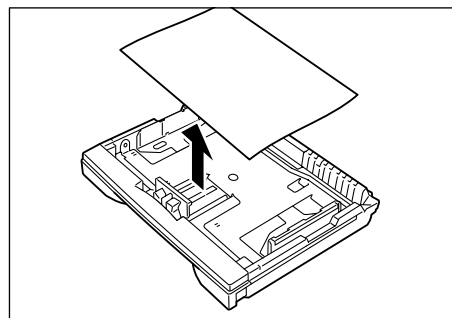
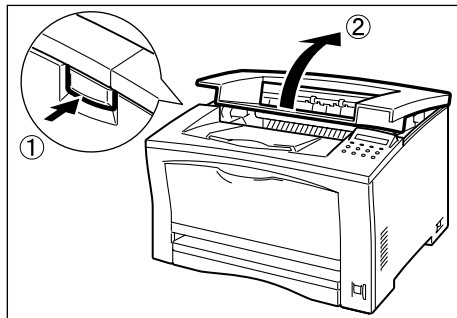
ポイント

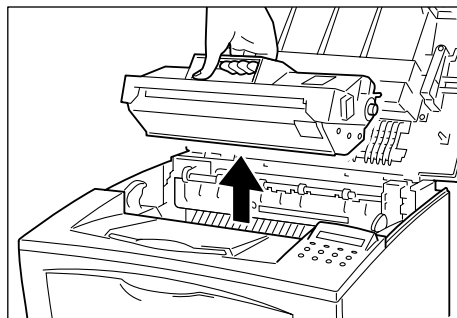
- プリンタの重さは、オプション品、カセット、消耗品、用紙を除いた本体のみの状態で約 18kg です。オプションの両面印刷ユニットや拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、プリンタ本体から取り外して運搬してください。プリンタ本体にしっかり固定されていない場合、落下によるケガの原因となります。
- プリンタを持ち上げるときは、2人でプリンタ正面および背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って、持ち上げることは絶対にしないでください。プリンタを下ろすとき、手をはさむおそれがあります。

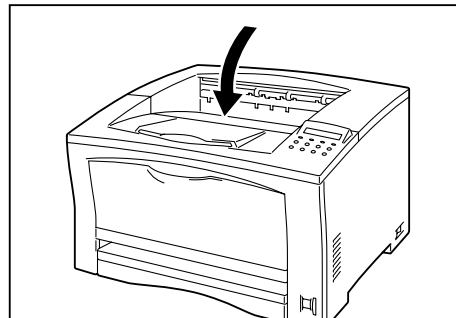
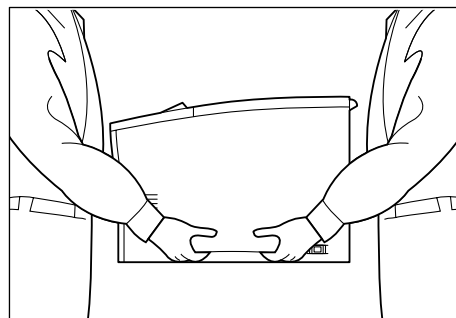
ポイント

プリンタをトラックなどで運送する場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

1 プリンタの電源スイッチの「○」側を押して、電源を切ります。

2 電源コード、プリンタケーブルなど、すべての接続コードを外します。

⚠ 注 意

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

3 排紙トレイに用紙がある場合は取り除き(①)、排紙延長トレイが引き出されている場合は、元に戻します(②)。

4 マルチペーパフィーダを開き、用紙がある場合は取り出して、マルチペーパフィーダを閉じます。
取り出した用紙は、紙などで包み、湿気やホコリから守ってください。

5 カセットをプリンタから引き抜き、用紙がある場合は取り出します。
取り出した用紙は、紙などで包み、湿気やホコリから守ってください。

6 プリンタの左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、トップカバーを開きます(②)。

プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

7 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

- ドラムトナーセットは､必ず取り外してください。ドラムトナーセットを取り付けたまま運搬すると､トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。
- 取り外したドラムトナーセットを振らないでください。トナーがこぼれます。
- 取り外したドラムトナーセットは､強い光に当たらないように､梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などで包んでください。

8 トップカバーを閉じます。
トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

9 プリンタを持って、静かに移動します。長距離を移動する場合は、梱包して運送してください。

注 意

プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

プリンタを持ち上げるときは、2人でプリンタ正面および背面に立ち、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。両側のくぼみ以外を持って持ち上げることは、絶対にしないでください。プリンタを下ろすとき、手をはさむおそれがあります。

4.8 定期交換部品について

本プリンタの定期交換部品（摩耗などにより機能低下する部品）の種類と、一般的な使用方法※での交換目安は以下の通りです。これらの部品が摩耗すると、「紙詰まりが多くなる」「斜めに印刷される」「印刷面または裏面に黒スジが印刷される」等の症状が多発するようになります。このようなときはお買い求めの販売店または、カシオテクノ・コールセンター ☞(79ページ) にお問い合わせください。

定期交換部品	交換目安
●定着ユニット ●搬送パッド ●搬送ローラ	10万枚
●転写ローラ ●はく離針	30万枚

※ 一般的な使用方法とは以下の条件を想定しています。

① A4 サイズ横送り
② 1ヶ月に 3,000 枚印刷
③ 弊社推奨普通紙（富士ゼロックス FX P 紙）を使用
④ 環境は常温・常湿

ただし、お客様の使用形態により異なりますので、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。

4.9 お問い合わせ先

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った･･･
というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- プリンタの機種名
- プリンタのシリアル No.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行なったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- ステータスシート（プリンタ情報印刷）
- HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。

http: //www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター

TEL 03-5334-4557

受付時間は AM10:00 ～ 11:55、PM1:00 ～ 5:00。
土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の故障や修理に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター

0570-033066

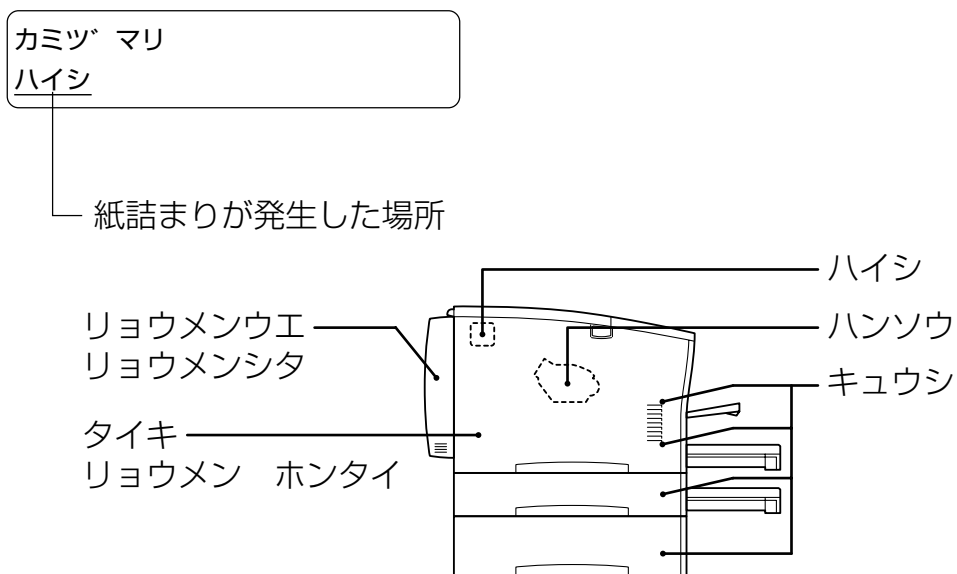
市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00 ～ 12:00　PM1:00 ～ 5:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）
※携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

5. 紙詰まりの処置

5.1 紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所を次のように表示します。

（表示例）

場所	紙詰まりが発生した場所	参照ページ
キュウシ	ページカセット（本体，オプション），マルチページフィーダ給紙部	82
タイキ	本体内部	84
ハンソウ		84
ハイシ		84
リョウメンウエ	両面印刷ユニット上カバー（オプション）	86
リョウメンシタ	両面印刷ユニット下カバー（オプション）	86
リョウメン　ホンタイ	両面印刷ユニット（オプション）～本体内部	84

用紙が詰まった場所を確認し、以降の方法でプリンタに詰まっている全ての用紙を取り除いてください。

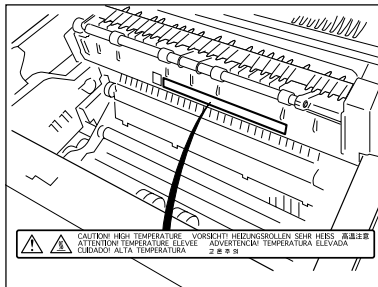
ポイント **紙詰まりには次のような原因が考えられます。紙詰まりを防ぐために、これらの点に注意してください。**

- **本機が水平に設置されていない**
- **適切な用紙を使用していない**
- **マルチページフィーダやページカセットに用紙が正しくセットされていない**
- **用紙がカールしている**
- **マルチページフィーダやページカセットのサイズ設定が違う**

- **用紙を取り除くときは、用紙が破れないようにゆっくりと引き抜いてください。**
- **トップカバーを開かずに用紙を取り除いた場合は、最後に必ずトップカバーを開閉してください。トップカバーを開閉することで､エラーが解除されます。**

注 意

詰まった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因となるおそれがあります。なお、紙片や用紙がヒーター部の見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターに連絡してください。

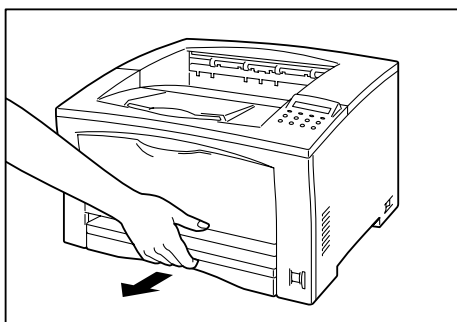
「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。直ちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはカシオテクノ・コールセンターにご連絡ください。

紙詰まりの処置が終了すると、表示パネルに「インサツ　デキマス」と表示されます。エラーメッセージが消えない場合は、メッセージに従い、紙詰まりの処置を続けてください。

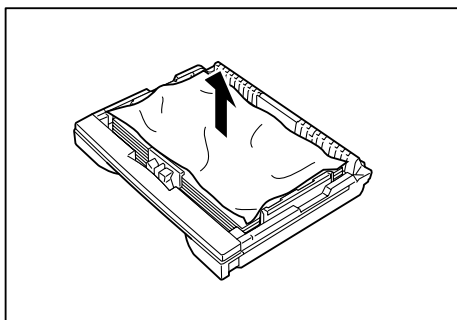
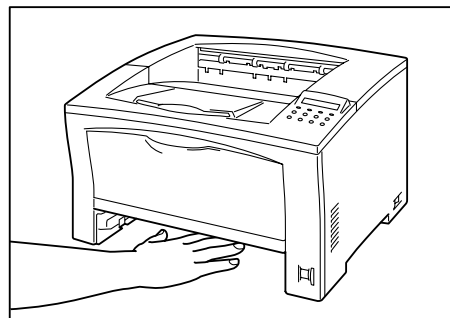
```
インサツ　デキマス
```

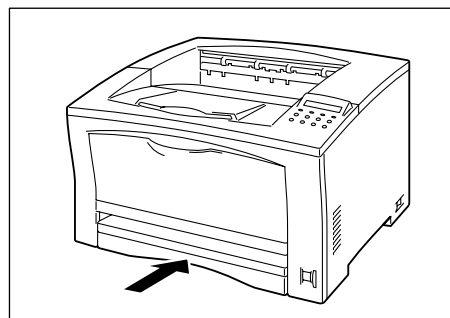
ポイント　次に印刷される用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すると汚れはつかなくなります。

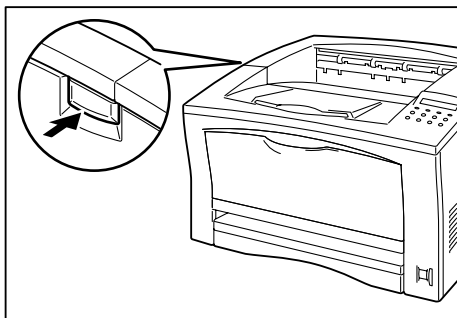
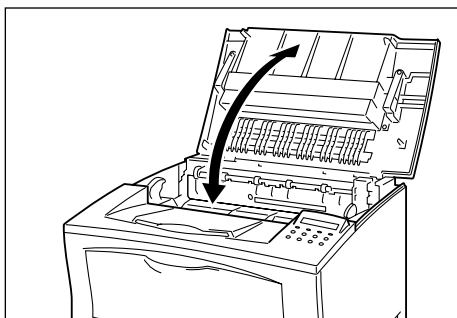
5.2 カセット内の紙詰まり(カミヅマリキュウシ)

(表示例)

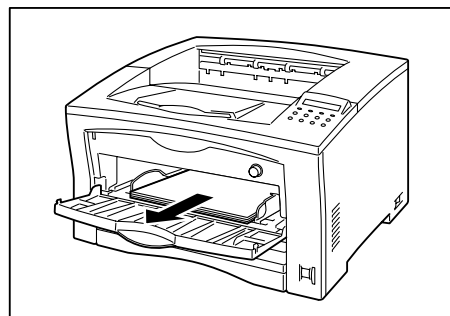
```
カミツ゛ マリ
キュウシ
```

1 カセットをプリンタから引き抜きます。

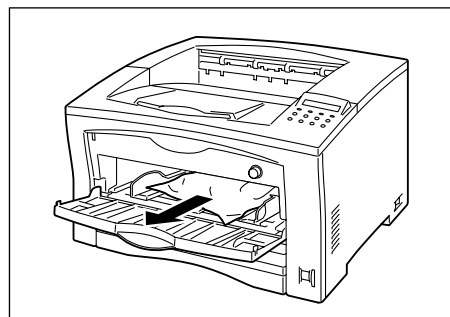
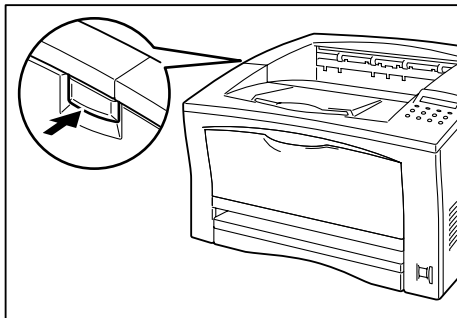
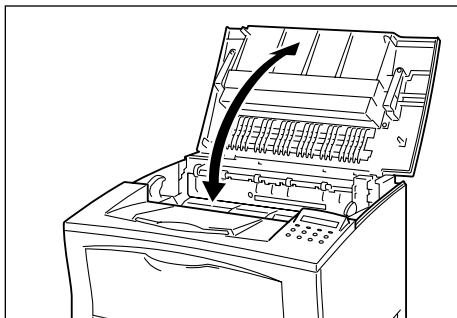
> ポイント
> オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜きます。

2 カセットの中を点検し、シワになっている用紙があれば、取り除きます。

3 プリンタの奥を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。

> ポイント
> オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、すべての拡張ペーパフィーダの奥を点検してください。

4 カセットをプリンタの奥に突き当たるまで押し込みます。
奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

> ポイント
> オプションの拡張ペーパフィーダを取り付けている場合は、すべての拡張ペーパフィーダにカセットをセットします。

5 プリンタ左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。

6 トップカバーを開閉します。

5.3 マルチペーパフィーダ付近の紙詰まり（カミヅマリキュウシ）

（表示例）

カミヅ゛マリ
キュウシ

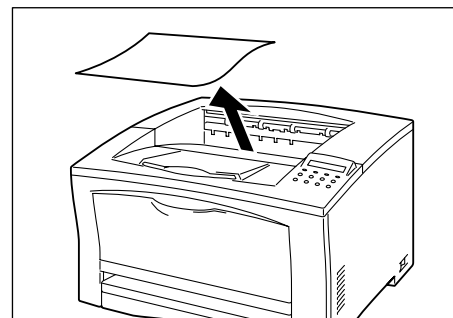
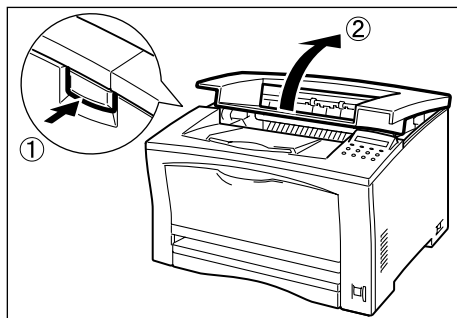
1 マルチペーパフィーダを開き、セットされている用紙を取り出します。

2 マルチペーパフィーダの奥（用紙の差し込み口付近）を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

3 プリンタ左側面のリリースボタンを押し、トップカバーのロックを解除します。

4 トップカバーを開閉します。

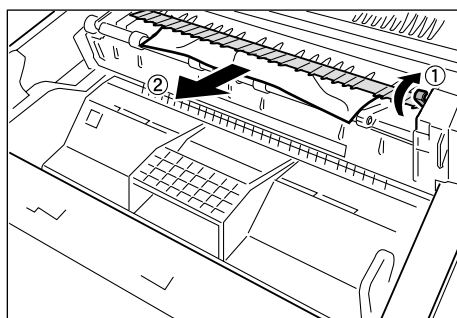
5.4 本体内部の紙詰まり（カミヅマリ　タイキ，ハンソウ，ハイシ，リョウメン　ホンタイ）

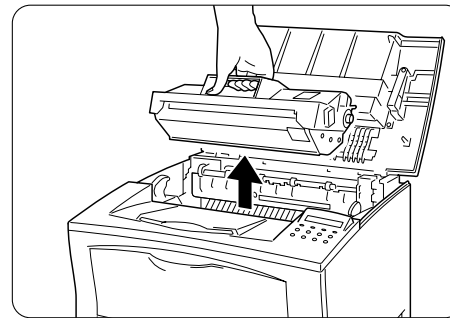
（表示例）

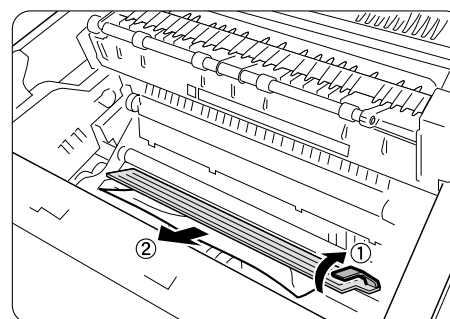
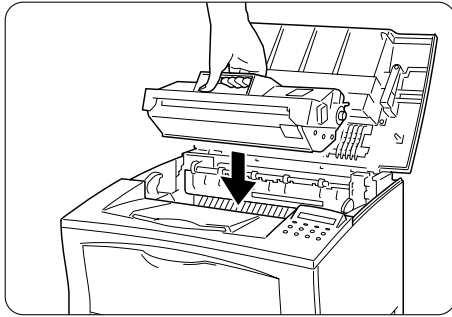
カミヅ゛マリ
ハイシ

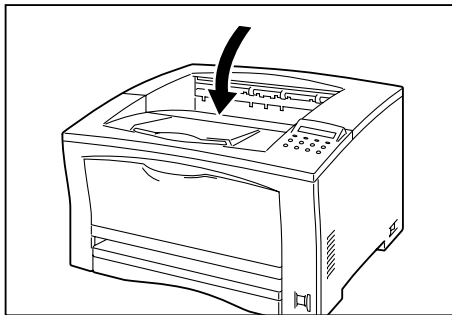
注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけどをするおそれがあります。

1 排紙トレイに用紙がある場合は、取り除きます。

2 プリンタ左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、トップカバーを開けます(②)。

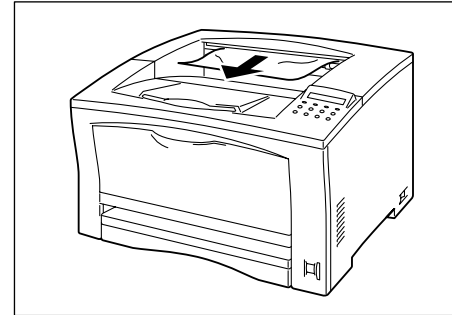
ポイント プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

3 定着ユニットのカバーを開き（①)、詰まっている用紙があれば、取り除きます（②)。用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

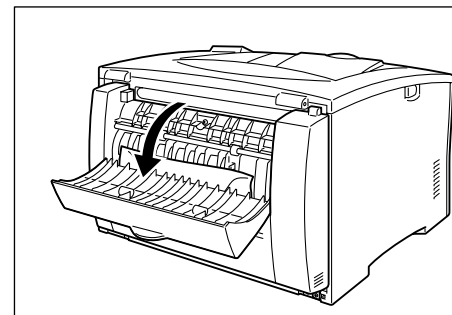
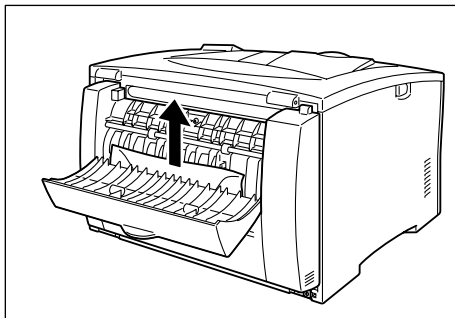
注意！ 定着ユニットは高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

4 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

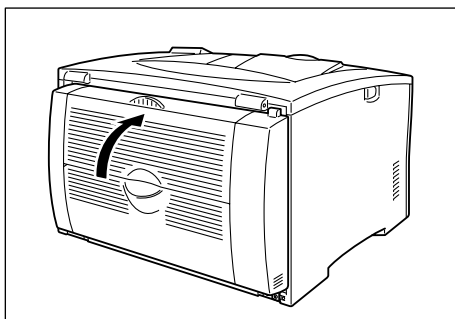
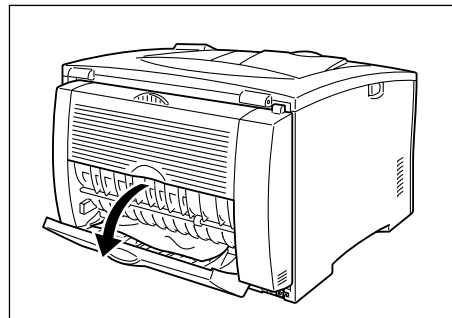
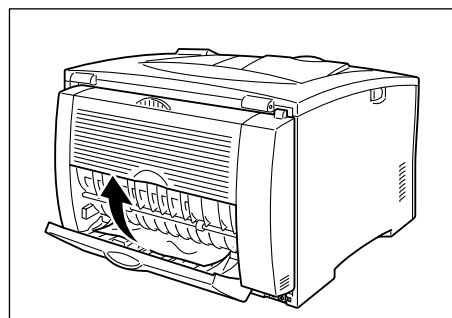
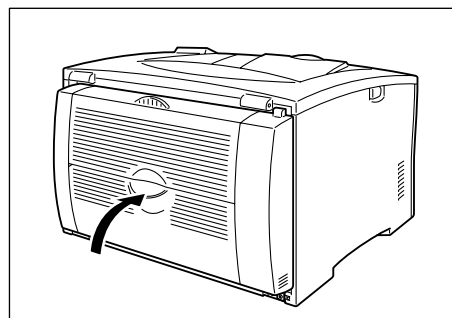
ポイント トナーで床などを汚さないように、取り出したドラムトナーセットを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

5 ドラムトナーセットを抜き出した奥を点検し、緑色のレバーを持ち上げ（①)、詰まっている用紙があれば取り除きます（②)。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

6 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に挿入します。

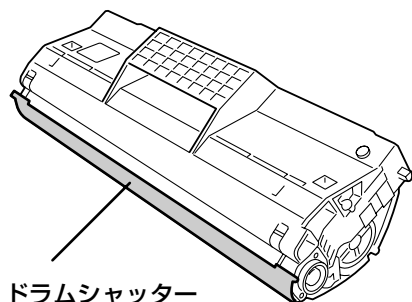
- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- ドラムトナーセットが確実にセットされていることを確認してください。

7 トップカバーを閉じます。
トップカバーの中心を押して、カバーを閉じてください。

5.5 両面印刷ユニットの紙詰まり（カミヅマリリョウメンウエ，リョウメンシタ）

カミヅ゛マリ
リョウメンウエ

1 用紙の排紙口を点検し、詰まっている用紙を取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

用紙が取り出しにくい場合は、このあとの「上カバー内部に詰まった用紙を取り除く」の操作を行なってください。

2 両面印刷ユニットの上カバーを開けます。

3 上カバーの内部を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

ポイント 用紙が取り出しにくい場合は、このあとの「下カバー内部に詰まった用紙を取り除く」の操作も行なってください。

4 両面印刷ユニットの上カバーを閉めます。

5 両面印刷ユニットの下カバーを開きます。

6 下カバーの内部を点検し、詰まっている用紙があれば、取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

7 両面印刷ユニットの下カバーを閉めます。

6. ドラムトナーセットの交換

印刷可能ページ数：約11,000ページ

注）印刷可能ページ数はA4サイズの用紙で、印字比率5%の場合の目安です。実際に印字できるページ数は、使用条件によって異なります。

消耗品はカシオ純正品をご使用ください。

純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなく、プリンタ本体の故障の原因になる場合があります。
プリンタ本来の性能を十分に発揮し、快適な印刷環境でご利用いただくために、カシオ純正の消耗品をご使用ください。

取り扱い上のご注意

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- ドラムトナーセットの取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、できるだけ5分以内で終了してください。
- ドラム表面には手を触れないでください。また、ドラムトナーセットを立てたり、裏返して置いたりしないでください。ドラムを傷つけることがあります。
- ドラムシャッターは、中の感光体（ドラム）に光が当たらないように保護しています。ドラムシャッターをむやみに開けないでください。
- ドラムトナーセットは、開封後、1年以内で使い切ることをお勧めします。

⚠ 注 意

プリンタ内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけどをするおそれがあります。

使用済みのドラムトナーセットは火中に投じないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生など思わぬ事故の原因になります。カシオは、地球環境保護の為、使用済みのドラムトナーセットを無料で回収しています。詳しくは別紙案内書をご覧ください。やむを得ず廃棄される場合は、一般のプラスチック扱いで廃棄してください。なお、地方自治体の条例により廃棄・分別の方法が指定されている場合はそれに従ってください。

ドラムトナーセットを交換する際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いてから行なってください。

トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
小児の手の届かないところに保管してください。

6.1 トナーセットの交換方法

ドラムトナー　コウカンヨヨコク

メッセージランプが点滅し、図のようなメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、トナーが残り少なくなった事を示しています。新しいドラムトナーセットをご準備ください。

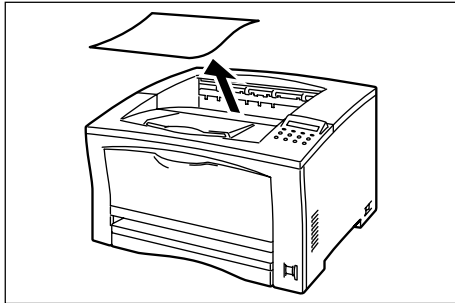
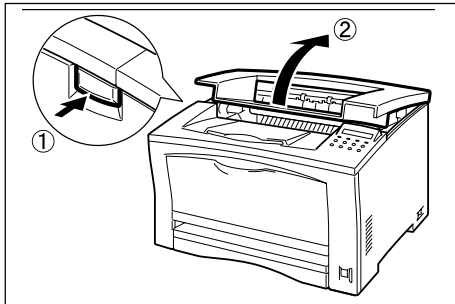
ドラムトナー　コウカンジ゛キ

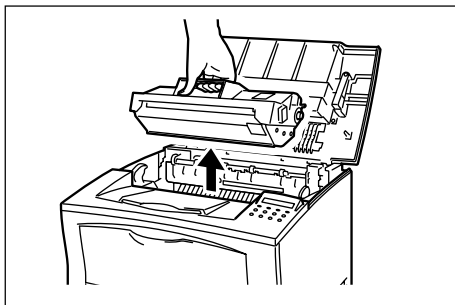
約 700 ページ

取消ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり、左図のようなメッセージが表示され、印刷を再開します。

ドラムトナー　コウカン

再びメッセージランプが点滅し、左図のようなメッセージが表示され、プリンタが停止しているときは、ドラムトナーセットの交換時期です。

■古いドラムトナーセットを取り外します。

1 排紙口に用紙がある場合は、取り除きます。

2 プリンタ左側面のリリースボタンを押してロックを解除し(①)、トップカバーを開けます(②)。

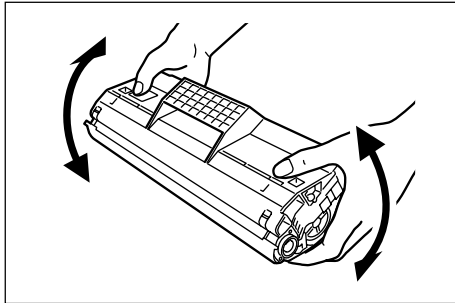
ポイント プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

3 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げます。

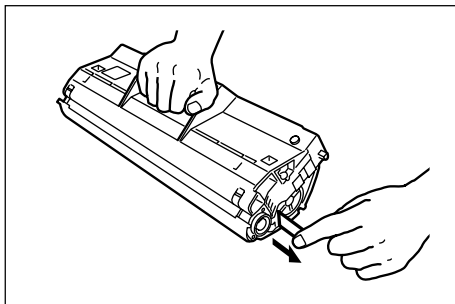
警告

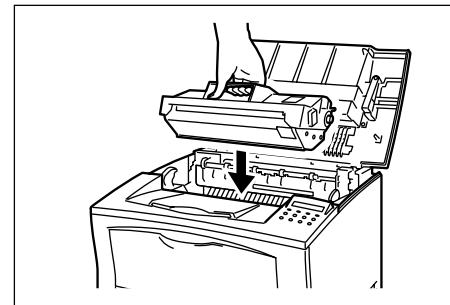
使用済みのドラムトナーセットは火中に投じないでください。一部可燃性の材料を使用しているため、火災・やけど・ガスの発生など思わぬ事故の原因になります。

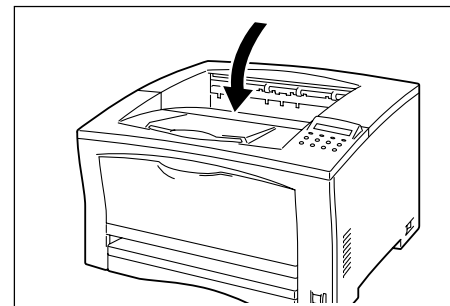
ポイント トナーで床などを汚さないように、取り出したドラムトナーセットを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

カシオは、地球環境保護の為、使用済みのドラムトナーセットを無料で回収しています。詳しくは新しいドラムトナーセットに同梱されている案内書をご覧ください。

■新しいドラムトナーセットを取り付けます。

1 新しいドラムトナーセットを梱包から取り出し、図のように7〜8回振ります。

- トナーの状態が均一でないと、印刷品質が低下することがあります。また、よく振らないと起動時に異常音やドラムトナーセット内部の破損が発生することがあります。
- 感光体（ドラム）表面には、絶対に手を触れないでください。

2 ドラムトナーセットを平らな場所に置き、トナーシールを引き抜きます。

- トナーシールを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
- トナーシールを引き抜いたあとは、ドラムトナーセットを振ったり、ドラムトナーセットに衝撃を与えたりしないでください。

3 ドラムトナーセットの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に挿入します。

- プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。
- ドラムトナーセットが確実にセットされていることを確認してください。

4 トップカバーを閉じます。トップカバーの中心を押して、カバーを閉めてください。

付録 1. 主な仕様

<table>
<tr><th colspan="3">項目　形式</th><th>CP-E8500</th><th>CP-E8500NW</th></tr>
<tr><td colspan="3">形式</td><td colspan="2">デスクトップ型</td></tr>
<tr><td colspan="3">プリント方式</td><td colspan="2">レーザービームヘッド+乾式電子写真方式</td></tr>
<tr><td colspan="3">解像度</td><td colspan="2">600dpi/300dpi</td></tr>
<tr><td colspan="3">スムージング</td><td colspan="2">2,400dpi相当</td></tr>
<tr><td rowspan="2">プリント速度（本体カセット給紙、コピーモード時）</td><td colspan="2">片面印刷</td><td colspan="2">26.4枚/分（A4横）、16.8枚/分（B4縦）、14.5枚/分（A3縦）</td></tr>
<tr><td colspan="2">両面印刷（オプション）</td><td colspan="2">19.2枚/分（A4横）、10.1枚/分（B4縦）、9.4枚/分（A3縦）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙</td><td rowspan="2">種類</td><td>普通紙</td><td colspan="2">カセット給紙 ：60～ 90g/m²
MPF給紙 ：60～ 135g/m²</td></tr>
<tr><td>特殊紙</td><td colspan="2">MPF給紙 ：ラベル紙、OHPフィルム、官製はがき、封筒</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイズ</td><td colspan="2">カセット給紙 ：A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横
MPF給紙 ：幅87mm～297mm、長さ98mm～900mm※1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">給紙方式容量※2</td><td colspan="2">標準</td><td colspan="2">カセット給紙 ：普通紙（64g/m²）......................... 250枚
MPF給紙 ：普通紙（64g/m²）......................... 200枚
官製はがき 50枚
封筒 10枚
OHPフィルム、ラベル紙 75枚
長尺紙 .... 1枚</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプション</td><td colspan="2">拡張ペーパフィーダセット（A3/250枚）：250枚（64g/m²）
拡張ペーパフィーダセット（A4/500枚）：500枚（64g/m²）</td></tr>
</table>

※1　長さ420mmより長い長尺紙は幅297mmのみ使用可能。

※2　MPFで給紙できる普通紙は、高さ16mm以下です。また、カセットで給紙できる普通紙は250枚カセットで高さ26mm以下、500枚カセットで高さ53mm以下です。

<table>
<tr><th colspan="2">項目 ＼ 形式</th><th>CP-E8500</th><th>CP-E8500NW</th></tr>
<tr><td colspan="2">排紙方式：容量</td><td colspan="2">フェイスダウン排紙：250枚(64g/m^2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">両面印刷</td><td colspan="2">普通紙(60～90g/m^2)
A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウエイト時間</td><td colspan="2">13秒以内(室温22℃、定格電圧時)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファーストプリント時間</td><td colspan="2">6.5秒以内(本体カセット給紙、A4横)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用環境※3</td><td>動作時</td><td colspan="2">温度：5～35℃、湿度：15～85%RH(結露なき事)</td></tr>
<tr><td>非動作時</td><td colspan="2">温度：－20～40℃、湿度：5～85%RH(結露なき事)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">稼働音※4</td><td>プリント時</td><td colspan="2">52dB以下(本体のみ)</td></tr>
<tr><td>待機時</td><td colspan="2">32dB以下(本体のみ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用電源</td><td colspan="2">AC100V±10%　50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td colspan="2">最大：920W以下、スリープ時：20W以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法(W×D×H)</td><td colspan="2">459mm×430mm×310mm(カセット縮小時)
459mm×608mm×310mm(カセット延長時)</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体重量</td><td colspan="2">約20kg　(消耗品を除く)</td></tr>
<tr><td colspan="2">妨害波規格</td><td>VCCIクラスB情報技術装置に適合</td><td>VCCIクラスA情報技術装置に適合</td></tr>
<tr><td colspan="2">消耗品</td><td colspan="2">平均11,000枚(A4横、黒化率5%、連続印刷、常温常湿)
※プリンタ購入時に同梱のドラムトナーセットは平均6,000枚です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体耐久期間</td><td colspan="2">5年または60万枚のいずれか早い方</td></tr>
</table>

※3　温度28℃以上は湿度70%以下でご使用ください。
※4　断続的な尖頭ピーク値は除く。

<table>
<tr><th colspan="2">項目＼形式</th><th>CP-E8500</th><th>CP-E8500NW</th></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェイス</td><td>パラレルインターフェイス×1
(IEEE 1284/ECPモード対応[※5])
USBインターフェイス×1[※6]
インターフェイス拡張スロット×1
(LAN I/Fボード用)</td><td>パラレルインターフェイス×1
(IEEE1284/ECPモード対応[※5])
USBインターフェイス×1[※6]
LANインターフェイス×1[※7]
(10/100 BASE-TX)</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU</td><td colspan="2">64bit RISC R4310 (167MHz)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">システムRAM</td><td>標準</td><td colspan="2">32MB</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td colspan="2">64MB/128MB(最大160MB：32MB+128MB)</td></tr>
<tr><td colspan="2">制御コード体系</td><td colspan="2">(ESC/P･ESC/Page･201H)+カシオ拡張コマンド</td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵フォント</td><td colspan="2">平成明朝体、平成角ゴシック体、欧文フォント14書体、ANK、OCR-B</td></tr>
</table>

※5　パソコン側のパラレルインターフェイスがECPモードに対応している必要があります。
※6　USB1.1対応(パソコン側は、USBポートをサポートしたIBM PC/AT互換機で、Windows Me, 2000, XPのみ対応しています。)
※7　CP-E8500NWはインターフェイス拡張スロットにLAN I/Fボード(CP-NW200T)を実装済みのモデルです。

付録 2. 用紙について

■使用できる用紙について

普通紙 一般にページプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている上質紙、および再生紙がご使用いただけますが、より快適な印刷を行なうためには、次表のような弊社推奨用紙をご使用ください。推奨用紙以外をご使用の場合は、表内に記載されているサイズおよび使用可能坪量の範囲内の中性紙をご使用ください。

ポイント **表内のサイズや厚さ（坪量）の用紙でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙をお買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。**

	推奨用紙名	サイズ	使用可能坪量(g/m²)	
			ペーパカセット	マルチペーパフィーダ
上質紙	富士ゼロックス　FX　P紙	A3, B4, A4, B5	60〜90	60〜135
	富士ゼロックス　FX　L紙	A3, B4, A4, B5, A5		
	富士ゼロックス　FX　EP紙	A4		
	富士ゼロックス　FX　EPR紙	A4, B5		
再生紙	富士ゼロックス　マイリサイクル	A4		
	富士ゼロックス　FX　R紙	A3, A4		
	富士ゼロックス　FX　WR100	A4		

特殊紙

＜ OHP フィルム＞

OHPフィルムは、次表の弊社推奨のOHPフィルムをご使用ください。また、OHPフィルムは、マルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは 「3.5 OHP フィルムや厚紙の印刷方法」（46 ページ）を参照してください。

種類	推奨用紙名 (商品コード)	サイズ (mm)	給紙装置
OHPフィルム	富士ゼロックス　FX P/N JE-001/V516 住友3M　3M CG 3300	A4 (210×297)	マルチペーパフィーダ 給紙容量　75枚

注 意

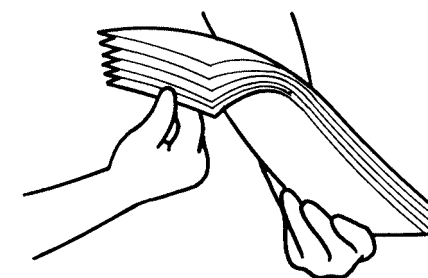
OHP フィルムは上記推奨の OHP フィルムをご使用ください。その他の OHP フィルムを使用すると定着器に巻き付くなど故障の原因になる事があります。特にインクジェット用の OHP フィルムは使用できません。また、OHP フィルムに印刷するときは OHP モードで印刷してください。 **「3.5 OHP フィルムや厚紙の印刷方法」（46 ページ）**

<ラベル紙・はがき・封筒>

ラベル紙・官製はがきは次表の弊社推奨の用紙をご使用ください。また、これらの特殊紙はマルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは 「3.4 マルチペーパフィーダに用紙をセットする」(44 ページ) を参照してください。

種類	推奨用紙名 (商品コード)	サイズ (mm)	給紙装置
ラベル紙	富士ゼロックス　P/N V860 富士ゼロックス　P/N V862	A4 (210×297)	マルチペーパフィーダ 給紙容量　75枚
官製はがき	官製はがき	通常 (100×148)	マルチペーパフィーダ 給紙容量　50枚
封筒	ハート ケント紙80g/m²長形3号 ハート ケント紙80g/m²長形4号	長形3号 (120×235) 長形4号(90×210)	マルチペーパフィーダ 給紙容量　10枚

特殊紙使用上のご注意

- **ラベル紙・はがきはカールがないものをご使用ください。**
- **封筒はシワが発生する事があります。**
- **官製はがきは、一般的な無地のものをご使用ください。**
- **特殊紙の印刷品質は、推奨している普通紙の印刷品質より劣る事があります。**
- **特殊紙に印刷するときには、複数枚が付着しないようによくさばいてください。**

両面印刷（オプション） 両面印刷に使用できる用紙は以下の範囲の用紙です。
それ以外の用紙を使用すると紙詰まりが発生しやすくなります。

種類	サイズ	厚さ
普通紙	A3 、B4 、A4 、B5 、A5 、レター	60～90g/m2

使用できない用紙

以下の用紙は、紙詰まりや故障の原因になりますので、使用しないでください。

- フルカラー用のOHPフィルムや、白い枠付きのOHPフィルム
- 一度印刷された用紙
- 湿っている用紙、ぬれている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- 150℃の熱で変質するインクを使った用紙
- カーボン紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 酸性紙を使用した場合は、文字ボケが出ることがあります。そのときは、中性紙に換えてください。
- 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- しわや折れ、破れがある用紙
- 反っている（カールしている）用紙
- 貼り合わせた用紙、のりが付いた用紙
- 表面加工したカラー用紙
- 感熱紙
- 凹凸や止め金がある封筒
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙

用紙の保管と取り扱い

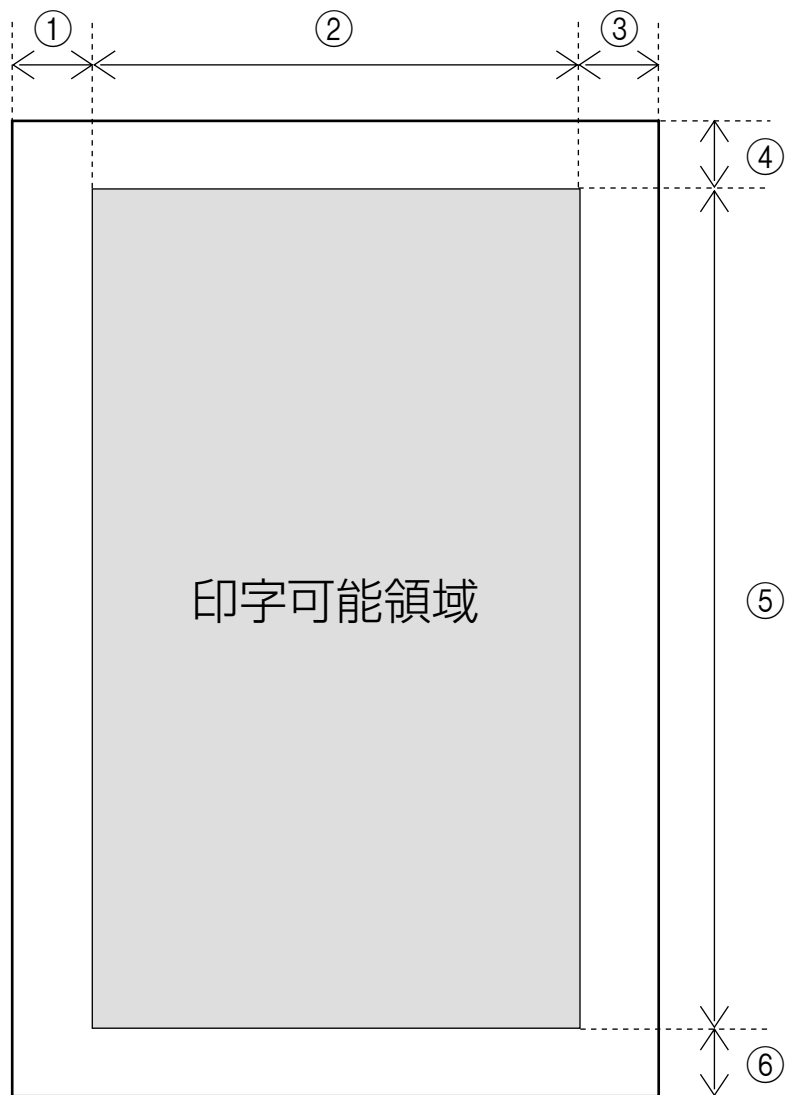
用紙を保管するときには、以下のことに気を付けてください。

- 湿気が少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気が少ない場所に保管してください。
- 用紙は立てかけずに、平らな場所に保管してください。
- 直射日光が当たらない場所に保管してください。

用紙をセットする前に、以下の事項を守ってください。

- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- しわや折れ、破れがある用紙は使用しないでください。
- サイズが異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHPフィルムやラベル用紙は、紙詰まりや複数枚同時に送られることがあるので、よくさばいてから使用してください。

付録 3. 印字領域

各用紙サイズにおける最大印字可能領域は以下の通りです。

（単位：mm）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	5.0	287	5.0	5.0	410	5.0
B4	5.0	247	5.0	5.0	354	5.0
A4	5.0	200	5.0	5.0	287	5.0
B5	5.0	172	5.0	5.0	247	5.0
A5	5.0	138	5.0	5.0	200	5.0
Letter (LT)	5.0	206	5.0	5.0	269	5.0
ハガキ	5.0	90	5.0	5.0	138	5.0

（単位：ドット　600dpi 時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	120	6776	120	120	9680	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
Letter (LT)	120	4860	120	120	6360	120
ハガキ	120	2122	120	120	3256	120

（単位：ドット　300dpi 時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	60	3388	60	60	4840	60
B4	60	2916	60	60	4180	60
A4	60	2360	60	60	3388	60
B5	60	2030	60	60	2916	60
A5	60	1628	60	60	2360	60
Letter (LT)	60	2430	60	60	3180	60
ハガキ	60	1061	60	60	1628	60

付録 4. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について

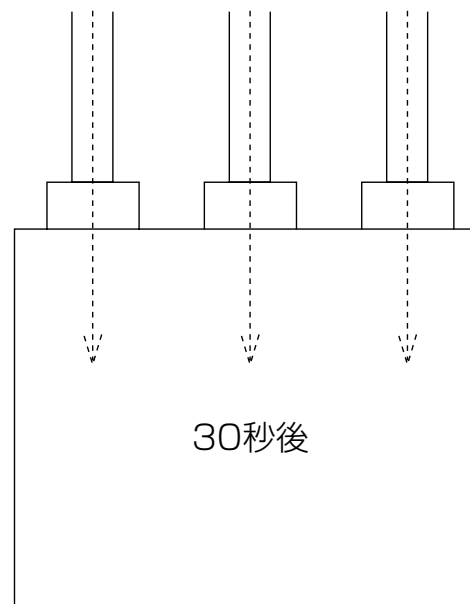
本プリンタは、標準で２口（セントロニクス及びUSB）インターフェイスを装備していますが、オプションの「LAN I/F ボード(CP-NW110 又はCP-NW200T)」を増設することにより、合計３口のインターフェイスが使用できます。
ここでは、２口のインターフェイスを使用した際の運用について説明します。

インターフェイスの自動切り替え

本プリンタにオプションのLANボードを接続し、３口のインターフェイスを使用した場合（つまり受信口を３つにした場合）、３つのインターフェイスからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェイスからのデータを印刷します。

現在、受信しているインターフェイスからの印刷が完全に終了した後、タイムアウト時間を経過すれば、他方のインターフェイスもデータ受信可能となります。

タイムアウト時間は、リファレンスマニュアルの「メニュー設定」の「I/F設定」→「H0タイムアウト」の項目で設定できます。☞ リファレンスマニュアル「H0タイムアウト」(27ページ)

例）タイムアウト時間を 30 秒に設定した場合

標準パラレルインターフェイス側 ① からデータ受信を行ない、処理データがなくなり、30秒間経過した後、インターフェイス ①②③ が受信待ちになります。

付録 5. 保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンタに同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。
② カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術(メカトロニクス)および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。
次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用·乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5) ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7) 「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項(お買い上げ日など)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8) 用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。

「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

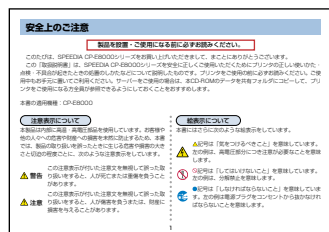
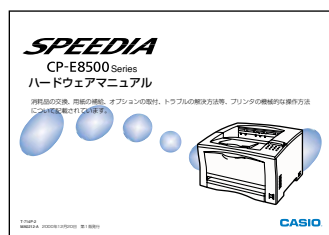
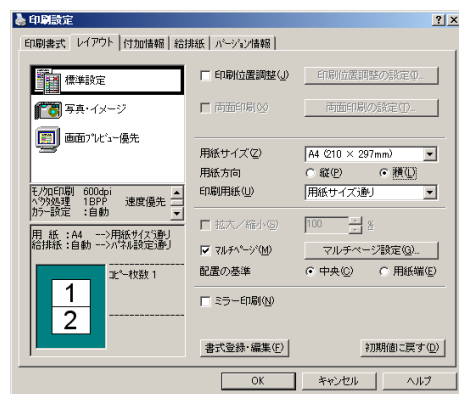
保守契約制度がありますので、カシオテクノ·コールセンターにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口としてカシオテクノ·コールセンター(79ページ)をご利用ください。

付録 6. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法

印刷方法

本マニュアルはパソコンの画面で見やすいようにA4横でレイアウトされています。このまま印刷すると、パソコン画面と同じ様に1枚の用紙に1ページずつ印刷されます。

●マルチページ印刷をおすすめします

本プリンタのマルチページ印刷機能を利用して、1枚の用紙に2ページずつ印刷できます。

図：マルチページ印刷の設定

「ファイル」→「印刷」→「プロパティ」ボタン
「レイアウト」タブ画面

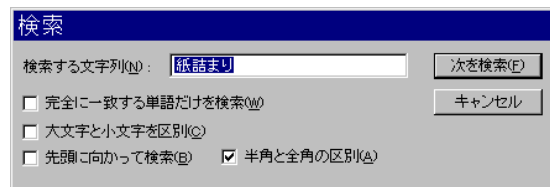
プリンタドライバのレイアウト画面で、図のように「用紙サイズ」をA4「用紙方向を」横にして、「マルチページ」を選択（☑）すると、左のページレイアウト表示が図のようになり、1枚に2ページ印刷できます。（あらかじめ「印刷」画面の「用紙サイズに合わせる」を選択（☑）しておいてください。）

☑ ポイント **オプションの両面印刷装置を装着しているプリンタであれば、図の画面で「両面印刷」を選択（☑）すると、さらに用紙の節約になります。**

キーワードによる検索方法

本マニュアル内の調べたい項目を探すときは検索機能をご利用ください。

●検索の方法

（1） ツールバーの ボタンを押すと、検索ダイアログが表示されます。探したい文字列を入力して「検索」ボタンを押してください。

（2） 同じ文字列で次を探すときは、画面上で「右クリック」して「次を検索」を選びます。

付録 7. 使用済みパソコン・プリンタ・情報通信機器の回収再資源化について

カシオ計算機は2001年４月よりご使用済みとなりました事業系パソコン、プリンタおよび情報通信機器の回収・再資源化を有償にて行なっております。
回収お申し込み方法など詳しくは下記ホームページをご覧ください。

http://www.casio.co.jp/env/recycle/pc.html

カシオ計算機株式会社
システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

CP-E8500 Series
ハードウェアマニュアル

2004年11月18日　第3版発行

カ シ オ 計 算 機 株 式 会 社
カ シ オ 電 子 工 業 株 式 会 社

＊本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。